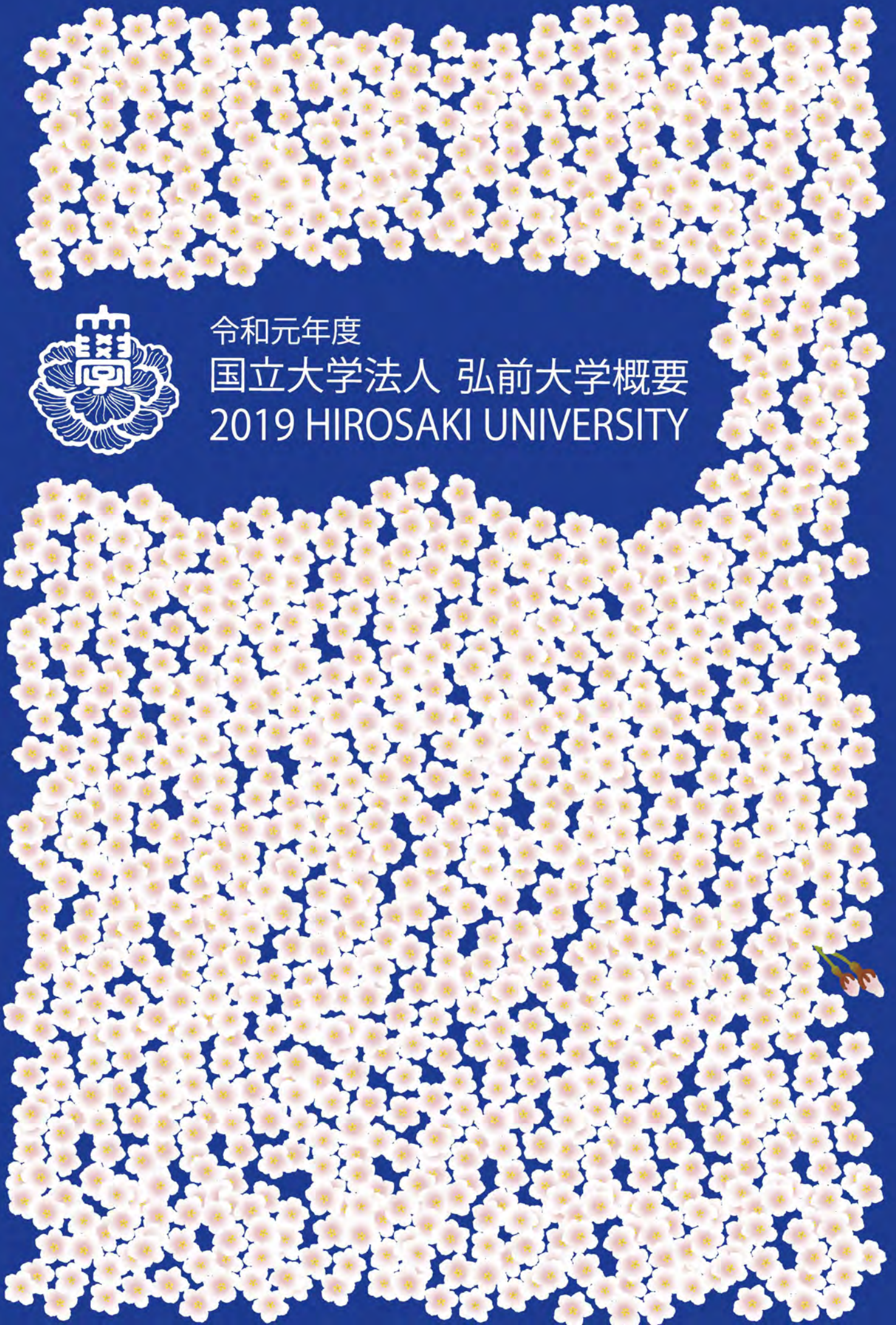


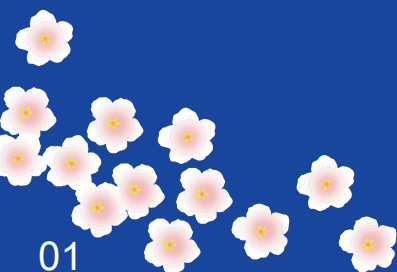


令和元年度
国立大学法人 弘前大学概要
2019 HIROSAKI UNIVERSITY



CONTENTS

- 02 学長メッセージ
- 03 理念・基本方針
- 05 歴代学長・沿革
- 07 組織
- 08 事務機構
- 09 教育研究院
- 10 学部・大学院
- 14 附属図書館
- 15 医学部附属病院
- 17 附置研究所
- 18 学内共同教育研究施設
- 19 本部
- 21 機構
- 【データ編】
- 24 ロゴマーク
- 25 役職員等
- 26 教職員数
- 27 入学者
- 28 学部学生数
- 29 大学院学生数
- 30 卒業・修了者／学位授与数
- 31 進路・就職状況
- 32 外国人留学生数
- 33 国際交流
- 35 国内機関との連携協定等
- 37 財務状況
- 39 キャンパス
- 43 土地・建物
- 44 サテライト
- 45 部局等所在地
- 46 アクセス



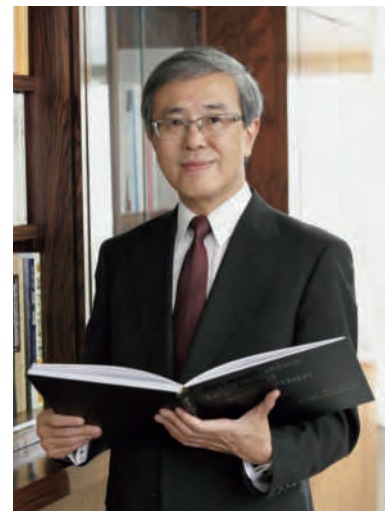
学長メッセージ

世界に発信し、地域と共に創造する「弘前大学」

弘前大学は地域と共に歩んで来た大学であり、そしてこれからも地域と共に歩んで行く大学であることに間違いありません。しかしながら、そのことは私たちの視野が地元に限られるものではないことも繰り返し述べて来ました。例えば、地元の方々と連携した教育研究活動の成果を世界に発信する価値のあるものにしていくことは、弘前大学の大きな役割と認識しています。今や地方社会においても産業や観光はもちろん、さまざまな活動が世界とつながっており、地域の活性化に貢献することを目指す弘前大学においても、あるいは、むしろ弘前大学においてこそ、グローバル化は重要な課題です。グローバル化にもさまざまな側面があると思いますが、間違いなく、弘前大学における教育研究の多様化を図ることが最大の目標であり、そのための取組を強化して来ました。学生が多様なキャンパス環境の中で学ぶことは、専門の教育や研究の成果を活かす上で不可欠であり、グローバル化はそのための大きな要因の一つです。弘前大学の現状はまだ十分とは言えませんが、そのために力を傾注することを大きな目標に据えています。

本州最北端の青森県に存在する弘前大学が世界から隔絶されることはあり得ないと思いますが、多少なりとも、その傾向があってはならないと自戒をこめて考えています。ましてや国内において、北のはずれの一国立大学にとどまることは許されません。強固な地域連携の下に、地域貢献を目指しながら、なおかつしっかりと全国に、そして世界に発信していくことが私たちの理想であり責務です。そのことを通して、以前からの本学のスローガンである“世界に発信し、地域と共に創造する”大学の姿を、より一層明確にしていきたいと思えます。

国立大学法人 弘前大学長 佐藤 敬



理念・基本方針

理 念

弘前大学は、教育基本法の本質にのっとり、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、人類文化に貢献しうる教養識見を備えた人格者の育成をもって目的とする。

基本方針・弘前大学将来ビジョン

弘前大学は北東北地域の総合大学の一つとして、地域活性化の中核的拠点の役割を追究していくことを基本とする。第2期中期目標・中期計画期間にあつては、再生可能エネルギー、環境、被ばく医療、食の4テーマを大学としての重点分野に位置付け、教育研究と地域連携を実施してきたが、第3期中期目標・中期計画期間においては、これらを含むさまざまな成果の社会還元としてのイノベーション創出と人材育成を通して、地域貢献のさらなる推進を目指すものとする。

また、大学改革にあつては、イノベーションに貢献する理工学系・農学系人材の育成の強化や、小学校教員を中心とした教員養成の質的充実、大学院における教育・研究の充実などが教育・研究組織再編の柱に位置付けられているが、加えて、従来の4重点分野に関する研究実施体制や課題の見直しを図ることは必然と考えられ、また、第3期中期目標・中期計画期間中においても、不断の改革が進められなければならない。大学のガバナンスに関しても、学内における広い議論の集約の下に、自主的な改革を果たしてきたが、その在り方について引き続き検証し、見直すことで、国立大学法人本来の管理運営の下に改革と機能強化を推進していくことが求められる。

これらの取組を通して、弘前大学のスローガンである“世界に発信し、地域と共に創造する”大学の姿をさらに明確にしていくことが本学の使命である。

教育・研究組織

教育・研究組織の再編を完遂することによって、グローバル化の進展、イノベーション創出の必要性、少子高齢化などを背景とした我が国社会の時代的要請に添えていく。また、科学・技術の進歩に伴って、高等教育の軸足は必然的に大学院教育へとシフトしていることをふまえ、学士課程教育との連続性を意識しながら、教育・研究組織の在り方を見直していく。

教育改革

地域活性化の中核的拠点として、地域のリーダーの輩出が弘前大学の大きな役割であり、グローバルな視点を持って地域課題の解決に取り組む人材がますます重要になりつつあるが、そのためには、教育の目標としては、真のグローバル人材の育成を目指すことが求められる。

また、専門的知識や技術を活かすためには、その基盤となる学識・教養を醸成し、調和した人格を形成する教養教育の役割はきわめて大きなものがある。教育改革においては、これらの視点に基づいて、教育の基盤整備に力を入れていくことが必要であり、入学者選抜方法の改善、成績評価の厳格化、アクティブ・ラーニングの強化、学生自身による学びのデザインの推進、学生支援体制の強化などを進める。

研究推進

国際的レベルの研究、発展が期待される基礎的研究及び地域の活性化に寄与する研究の推進を図ることを基本とする。その中で、若手研究者の支援、競争的研究資金の獲得、知的財産の創出と活用、国際的研究交流の推進などの視点に基づいて研究を推進していく。

また、研究分野としては、再生可能エネルギーや被ばく医療を含めた環境全般と食を本学の重要なテーマに位置付け、研究の推進を図る。

地域連携・地域貢献

地域活性化の中核的拠点としての機能の充実を図り、地域の自治体や企業、市民活動団体等との連携を引き続き強化する。特に教育に関しては、アクティブ・ラーニングなどに地域課題への取組を取り入れるとともに、研究においては、地域との共同研究等を通してイノベーション創出への貢献を果たす。さらに、地域の高等教育機関との連携強化によっても、教育・研究活動を通じた地域貢献を強化していく。

グローバル化

学術の国際交流の活性化はもとより、グローバル人材の育成は我が国全体の重要な課題となっており、弘前大学においてもグローバル化をさらに加速することが必要である。教育・研究の強化に加え、キャンパスの国際化の推進や本学学生の海外経験を支援することにより、国際化と多様性を一層強めていく。

管理運営

学長のリーダーシップによる全学的な合意形成を重視し、弘前大学の課題解決と目標達成を果たしていく。特に、国立大学法人を取り巻く現況にあって、構成員の共通認識の醸成の下に、全学一体となって弘前大学が発展を果たしていくため、管理運営の不断の見直しを続ける。

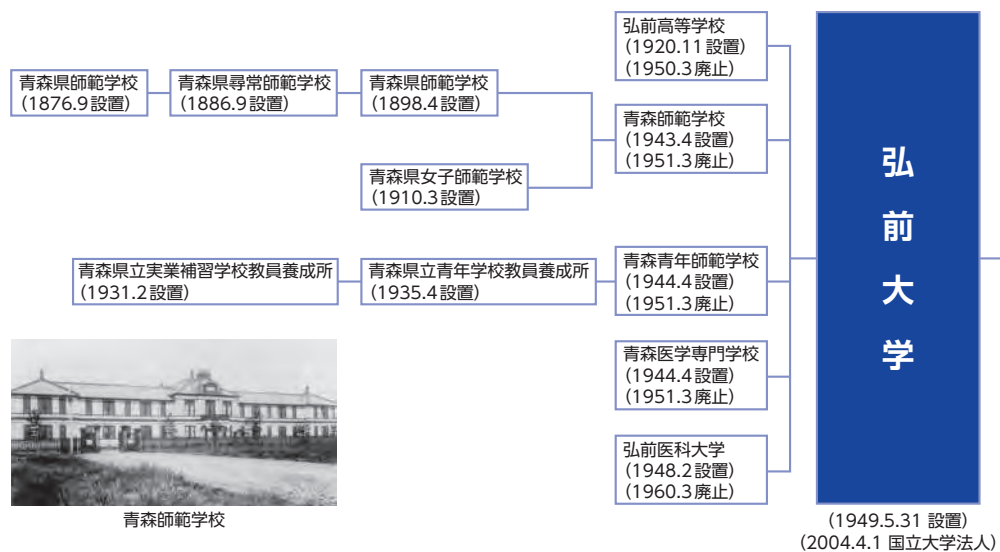
歴代学長・沿革

歴代学長

初代	医学博士/理学博士	丸井清泰	1949.5.31 ~ 1953.8.19
第2代	事務取扱	富野壮子路	1953.8.19 ~ 1954.1.31
第3代	理学博士	郡場寛	1954.2.1 ~ 1957.12.15
第4代	事務取扱	富野壮子路	1957.12.15 ~ 1958.1.31
第5代	理学博士	野村七録	1958.2.1 ~ 1962.1.31
第6代	医学博士	佐藤熙	1962.2.1 ~ 1968.1.31
第7代	経済学博士	柳川昇	1968.2.1 ~ 1972.1.31
第8代	医学博士	臼渕勇	1972.2.1 ~ 1978.1.31
第9代	医学博士	大池弥三郎	1978.2.1 ~ 1982.1.31
第10代	教育学博士	牧野吉五郎	1982.2.1 ~ 1986.1.31
第11代	医学博士	東野修治	1986.2.1 ~ 1992.1.31
第12代	理学博士	手代木渉	1992.2.1 ~ 1996.1.31
第13代	医学博士	吉田豊	1996.2.1 ~ 2002.1.31
第14代	医学博士	遠藤正彦	2002.2.1 ~ 2012.1.31
第15代	医学博士	佐藤敬	2012.2.1 ~



旧制弘前高等学校



青森師範学校

学内共同教育研究施設等

- 生涯学習教育研究センター(1996.5.11設置)
- 保健管理センター(1967.6.1設置)
- アイソトープ総合実験室(1999.10.1設置)
- 出版会(2004.6.28設置)
- 資料館(2012.10.1設置)
- ボランティアセンター(2012.10.1設置)
- 放射線安全総合支援センター(2015.10.16設置)
- 健康未来イノベーションセンター(2017.2.22設置)
- 学生総合相談室(1999.11.8設置)

附属図書館

- 医学部分館(1949.5.31設置)

(1949.5.31設置)

教育研究院

(2015.10.1設置)

本部

- COC推進本部(2014.11.21設置)
- 国際連携本部(2013.4.1設置)…(2016.10.1再編)
- 地域創生本部(2018.10.1設置)
- 情報連携統括本部(2019.4.1設置)

機構

- 教育推進機構(2012.7.25設置)…(2015.10.1再編)
 - 教養教育開発実践センター(2015.10.1設置)
 - アドミッションセンター(2015.10.1設置)
 - キャリアセンター(2016.4.1設置)
 - ・学生就職支援センター(2004.4.1)より改組
 - 学生特別支援室(2016.4.1設置)
- 研究・イノベーション推進機構(2013.12.16設置)
- COI研究推進機構(2013.12.16設置)

その他

- 学長戦略室(2016.7.1改称)
 - ・学長室(2014.4.1設置)
- 評価室(2004.4.1設置)
- 法人内部監査室(2008.4.1設置)
- 苦情処理室(2012.5.16改称)
- 男女共同参画推進室(2009.10.1設置)



学部

人文社会科学部 (2016.4.1改組)
文化創生課程
社会経営課程

・文理学部設置(1949.5.31)
・人文学部改組(1965.4.1)

教育学部 (2016.4.1改組)
学校教育教員養成課程
養護教諭養成課程

・教育学部、野辺地分校設置(1949.5.31)、野辺地分校廃止(1960.3.31)
・養護教諭養成所設置(1966.4.1)、廃止(1980.3.31)
●附属幼稚園(1949.5.31設置) ●附属教育実践総合センター(2001.4.1改組)
●附属小学校(1949.5.31設置) ●附属教育実践研究指導センター(1988.4.8設置)
●附属中学校(1949.5.31設置) ●附属教員養成学研究開発センター(2003.10.1設置)
●附属特別支援学校(2007.4.1改称) ●附属教員免許状更新講習支援室(2016.10.1移管)
・附属養護学校(1974.4.1設置) ●教員免許状更新講習支援室(2008.10.1設置)

医学部 (2000.10.1改組)
医学科
保健学科

・医学部設置(1949.5.31)
・医学部附属看護学校設置(1951.4.1)、廃止(1977.3.31)
・医学部附属助産婦学校設置(1957.4.1)、廃止(1975.4.21)
・医学部附属衛生検査技師学校設置(1967.4.1)、附属臨床検査技師学校改称(1972.4.1)、廃止(1978.3.31)
・医学部附属診療放射線技師学校(1969.4.1)、廃止(1979.3.31)
・教育学部特別教科(看護)教員養成課程及び医療技術短期大学部改組、医学部保健学科設置(2000.10.1)
●附属病院(1949.5.31設置)

理工学部 (2016.4.1改組)
数物科学科
物質創成化学科
地球環境防災学科
電子情報工学科
機械科学科
自然エネルギー学科

・文理学部設置(1949.5.31)
・理学部改組(1965.4.1)
・理工学部改組(1997.10.1)

農学生命科学部 (2016.4.1改組)
生物学科
分子生命科学科
食料資源学科
国際園芸農学科
地域環境工学科

・文理学部に【農学科】設置(1951.4.1)、廃止(1955.3.31)
・農学部設置(1955.7.1)
・農学生命科学部に改組(1997.10.1)
●附属生物共生教育研究センター(2000.4.1改組) ●附属遺伝子実験施設(2011.4.1移管)
・附属農場(1956.4.1設置) ●遺伝子実験施設(1993.4.1設置)
●附属白神自然環境研究センター(2018.4.1移管)
・白神自然環境研究所(2010.10.1設置)
・白神自然観察園(2009.4.1設置)

大学院

人文社会科学研究科(1999.4.1改組)

・人文学専攻科設置(1972.4.1)、廃止(1999.3.31)
・人文科学研究科(修士課程)設置(1989.4.1)
・人文社会科学研究科(修士課程)改組(1999.4.1)

教育学研究科 (2017.4.1改組)

・教育専攻科設置(1966.4.1)、廃止(1994.3.31)
・教育学研究科(修士課程)設置(1994.4.1)
・教職実践専攻(専門職学位課程)設置(2017.4.1改組)

医学研究科 (2007.4.1改称)

・医学研究科(博士課程)設置(1958.4.1)
・医学系研究科改称(2005.4.1)
・医学研究科(博士課程)改称(2007.4.1)
●附属脳神経血管病態研究施設(1999.4.1改組) ●附属動物実験施設(1979.4.1設置)
・附属脳卒中研究施設(1965.4.1設置) ●附属高度先進医学研究センター(2005.4.1設置)
・附属脳神経疾患研究施設(1989.5.29改組)
●附属子どものこころの発達研究センター(2014.4.1設置)

保健学研究科 (2007.4.1設置)

・医学系研究科保健学専攻(修士課程)設置(2005.4.1)
・保健学研究科(博士課程)設置(2007.4.1)

理工学研究科 (2010.4.1改組)

・理学専攻科設置(1969.4.1)、廃止(1978.3.31)
・理学研究科(修士課程)設置(1977.4.1)
・理工学研究科(修士課程)改組(2002.4.1)
・理工学研究科(博士課程)設置(2004.4.1)
・理工学研究科(博士前期課程)改組(2010.4.1)
●附属地震火山観測所(1981.4.1設置) ●附属医用システム創造フロンティア(2014.4.1設置)

農学生命科学研究科(2012.4.1改組)

・農学専攻科設置(1960.4.1)、廃止(1971.3.31)
・農学研究科(修士課程)設置(1971.4.1)
・岩手大学大学院連合農学研究科(博士課程)参加(1990.4.1)
・農学生命科学研究科(修士課程)改組(2002.4.1)

地域社会研究科 (2002.4.1設置)

・地域社会研究科(博士課程)設置(2002.4.1)

附属研究所

被ばく医療総合研究所(2010.10.1設置)

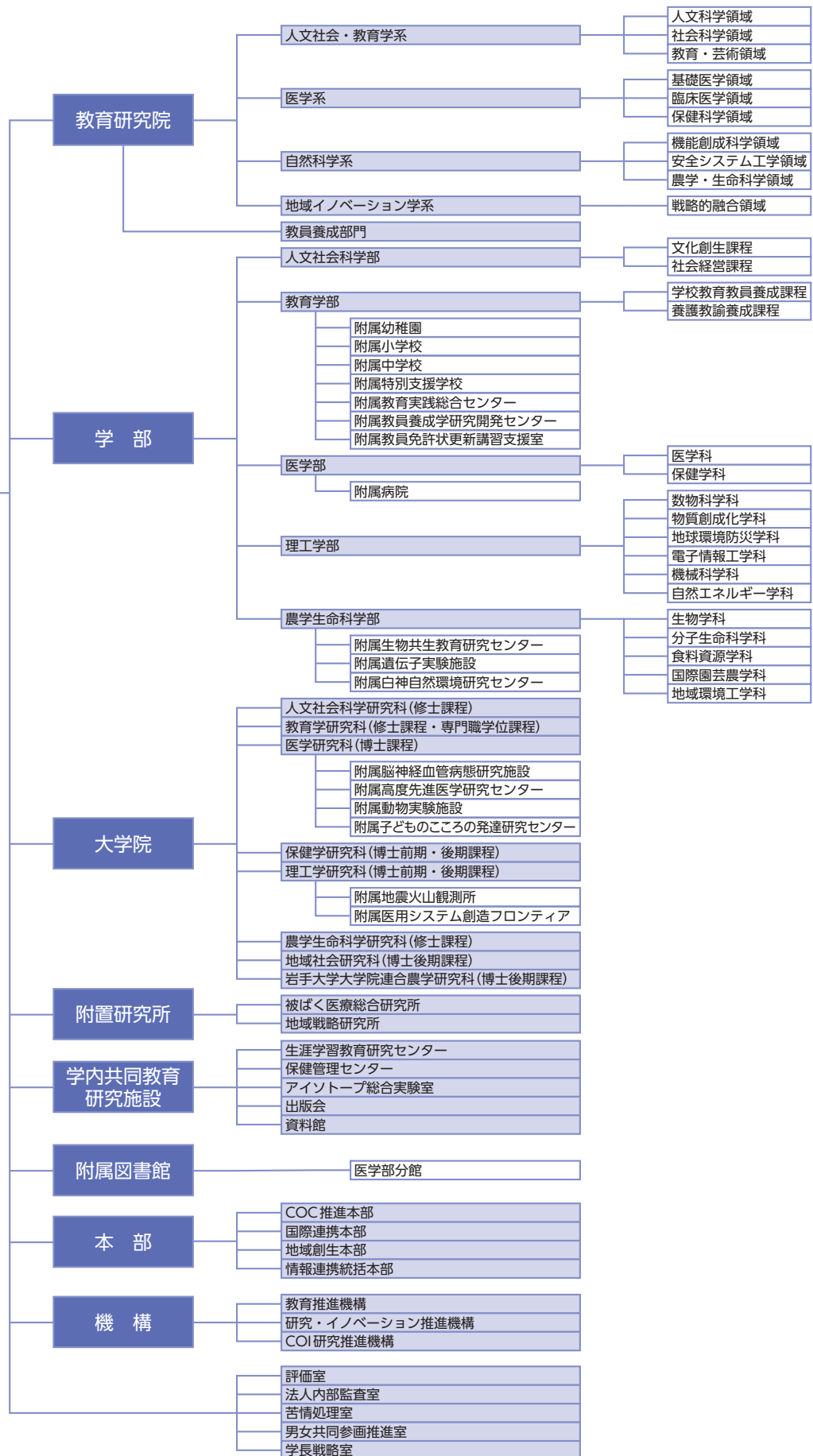
・被ばく医療教育研究施設改組(2010.3.23)

地域戦略研究所 (2018.4.1設置)

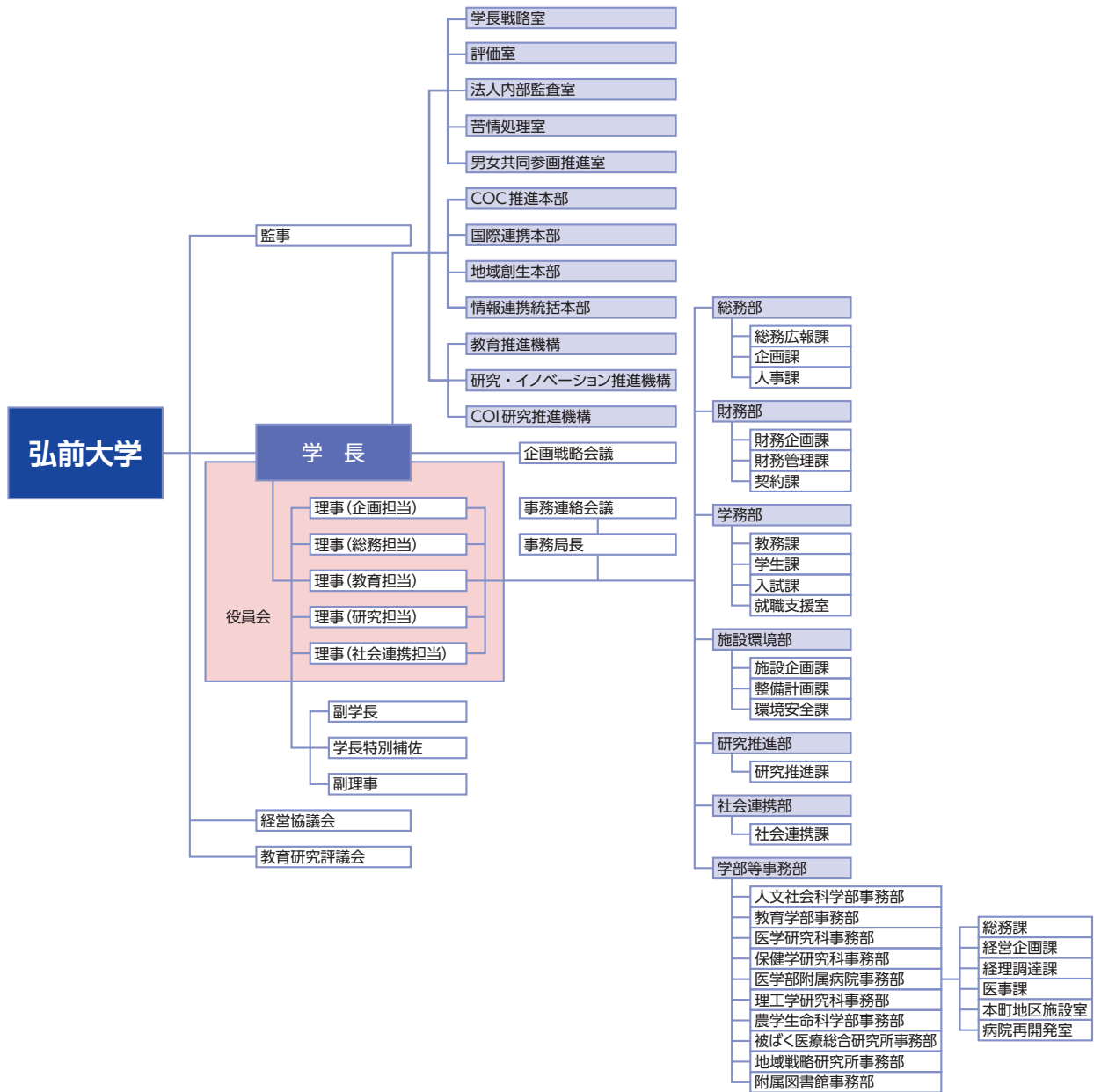
・北日本新エネルギー研究所設置(2010.10.1)
・食料科学研究所設置(2013.3.25)

組織

弘前大学



事務機構



教育研究院

組織

学部、研究科等における教育の高度化と研究の発展を図るため、全学一体として機能発揮できる体制の構築を目的に、教育研究組織から分離した教員組織として「教育研究院」を設置しています。

組織構成



学系・領域

教育研究院には、基本的学問分野として「学系」を置き、学系の下に学問領域に対応した「領域」を置く。学問領域に加え、本学の特色であるエネルギー、環境、健康、食、地域資源等を活用した地域発展志向の「地域イノベーション学系」を置く。

教員養成部門

教員養成を担当する教員により組織される「教員養成部門」を置く。

学系会議・領域会議

各学系に、学系会議を置き、学系の各領域に領域会議を置く。

教員人事

本学の教育、研究、社会貢献、診療、管理運営等を円滑に実施するため、全学的な視点から一元的な教員人事を行う。

学部・大学院



人文社会科学部

Faculty of Humanities and Social Sciences

時代の変化に対応できる専門知識・技能と課題解決能力の習得を目指して

人文社会科学部は、北東北地域における人文社会科学分野の主要な高等教育研究拠点のひとつです。少子高齢化の急速な進行、世界規模でのグローバル化の進展等によって、日本社会が大きな変化を迫られている状況の中で、確かな価値観と行動原理に裏づけられた、人文社会科学分野の専門知識・技能と現実の課題解決能力をそなえた人材育成を目指します。

- 文化創生課程 文化資源学コース／多文化共生コース
- 社会経営課程 経済法律コース／企業戦略コース／地域行動コース

大学院

人文社会科学研究科 (修士課程)

Humanities and Social Sciences (Master's Course)

地域や世界に開かれた大学院として

人文社会科学研究科は、文化科学専攻と応用社会科学専攻の2専攻のもとに、総合文化社会研究コース、地域人材育成コース、国際人材育成コースという3つのコースを設置しています。各コースでは、それぞれの学問分野に関係した高度で特色のある教育・研究を通して、グローバル化と共生の時代に相応しい高度専門職業人の養成を目指しています。

- 文化科学専攻
総合文化社会研究コース／地域人材育成コース／国際人材育成コース
- 応用社会科学専攻
総合文化社会研究コース／地域人材育成コース／国際人材育成コース



教育学部

Faculty of Education

教員・教育者育成への新たな挑戦

教育学部は、学校教育教員養成課程、養護教諭養成課程から構成されており、優秀な教育者並びに職業人の養成を目標に、人文・社会・自然等の諸科学、芸術、体育並びに教育科学に関する教育研究が行われています。そして、その実証的研究や学生の実習を行うため、本学部には教育実践総合センター、教員養成学研究開発センター、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校が附属して設置されています。

- 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻／特別支援教育専攻
- 養護教諭養成課程

大学院

教育学研究科

(修士課程 / 専門職学位課程)

Education (Master's Course / Professional Degree Course)

より深く学び、実践的に

教育学研究科は、教育学部の教職及び教科専門に関わる専門教育を基礎として、学校教育専攻並びに教職実践専攻をもつ、修業年限2年の修士課程です。教育科学、教科教育学及び教科専門の諸科学について、精深な教育を行うと共に、高度な教育実践の資質能力を備えた人材を育成し、更に社会の変動とこれに基づく価値意識の多様化に即応して、現職教員の再教育の場を提供し、地域文化の向上や継承のための人材を育成することを目標としています。

- 学校教育専攻 (修士課程)
教育科学コース／特別支援教育コース／教科実践コース
- 教職実践専攻 (専門職学位課程)
ミドルリーダー養成コース／教育実践開発コース

学部・大学院



医学部 医学科

School of Medicine

医学部医学科では以下のような「理念・目標」を定めています

- ①人間の尊厳を希求し、医学の発展の一翼を担います。
- ②豊かな人間性と高度の医学知識に富み、求められる社会的役割を的確に果たすことができ、広い視野と柔軟な思考力を持つ医師、医学研究者を養成します。
- ③それぞれの専門性を生かした国際水準の基礎的、応用的な医学研究を推進します。
- ④高度で先端的な医療を地域社会と連携しつつ実践します。

●講座等は大学院医学研究科に所属

大学院

医学研究科 (博士課程)

Graduate School of Medicine (Doctoral Course)

高度で専門的な教育・研究を行います

医学研究科は、医学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の発展に寄与することを目的としています。その課程では、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、また、その他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うものとします。

●医科学専攻

〈基礎講座〉

神経解剖・細胞組織学/生体構造医学/統合機能生理学/ゲノム生化学/病態薬理学/分子病態病理学/病理生命科学/感染生体防御学/社会医学/法医学

〈臨床講座〉

消化器血液内科学/循環器腎臓内科学/呼吸器内科学/内分泌代謝内科学/腫瘍内科学/神経精神医学/小児科学/胸部心臓血管外科学/消化器外科学/整形外科学/リハビリテーション医学/皮膚科学/泌尿器科学/眼科学/耳鼻咽喉科学/放射線腫瘍学/放射線診断学/産科婦人科学/麻酔科学/脳神経外科学/歯科口腔外科学/形成外科学/救急・災害医学/臨床検査医学/病理診断学/小児外科学/医学医療情報学/総合診療医学/薬剤学/輸血・再生医学

●附属教育研究施設等

〈附属脳神経血管病態研究施設〉

脳神経病理学/脳血管病態学/脳神経生理学/脳神経内科学

〈附属高度先進医学研究センター〉

分子生体防御学/糖鎖工学

〈附属動物実験施設〉

〈附属子どものこころの発達研究センター〉

〈寄附講座〉

不整脈先進治療学/先進移植再生医学/地域医療学/心臓血管病先進治療学/脳卒中・血管内科学/大館・北秋田地域医療推進学/地域医療支援学/地域救急医療学/総合地域医療推進学/生体高分子健康科学/心臓病遠隔管理システム開発学/むつ下北地域医療学

〈共同研究講座〉

アクティブライフプロモーション学/先制栄養医学/ヘルスクアマネジメント学/ウォーターヘルスサイエンス/女性の健康推進医学/野菜生命科学/フローラ健康科学/QOL推進医学/食と健康 科学/健康と美 医科学/未病科学研究/オーラルヘルスクア学



医学部保健学科

School of Health Sciences

高度な医療技術と豊かな人間性を持った 医療従事者の育成

医学部保健学科は5専攻を有し、多様な保健医療専門職を養成する機関です。教育学部特別教科(看護)教員養成課程と医療技術短期大学部を前身とし、保健医療専門職教育における長い歴史と実績を有しています。校舎は本町キャンパスに位置し、約800人の学生が所属しています。弘前大学医学部保健学科の使命は、保健学における適切で高度な専門教育を提供し、健康の質を改善すると共に、国民の健康と福祉の増進に寄与することです。

- 看護学専攻
- 放射線技術科学専攻
- 検査技術科学専攻
- 理学療法学専攻
- 作業療法学専攻

大学院

保健学研究科

Graduate School of Health Sciences (Master's Course / Doctoral Course)

【博士前期課程】

問題分析・解析能力を備えた 高度医療専門職者の育成

保健学研究科博士前期課程では、学部教育をさらに発展させ、保健学の領域における教育と研究を通して知的財産を創造・蓄積すると共に、実践の場でリーダーシップを発揮し、指導的役割を果たすことのできる“コ・メディカルスタッフ”の育成を目標としています。また、緊急被ばく医療に関する高度専門職やリーダーを養成するとともに本分野の学問の発展に貢献できる教育者・研究者を育成する被ばく医療コース及び放射線被ばくに関連した複雑な健康問題を持つ個人、家族及び集団に対して高度看護実践を行うことのできる人材を育成する放射線看護高度看護実践コースも設定しています。

- 保健学専攻
看護学領域／放射線技術科学領域／生体検査科学領域／
総合リハビリテーション科学領域

【博士後期課程】

独創性・創造性豊かな教育研究者の育成

保健学研究科博士後期課程では、学部及び博士前期課程における教育・研究を通して得られた保健学に関する知識・技術・研究基礎能力を更に高め、人々の健康を保持増進し、生活の質(QOL)向上に向けた独創的・学際的な研究を自立的に進め、幅広い学識と高度な専門性、倫理性を身に付けた教育・研究者を育成することを目的とします。また、緊急被ばく医療における高度な教育者及び研究者を養成するとともに本分野の学問の発展に貢献できる教育者・研究者を育成する被ばく医療コースも設定しています。

- 保健学専攻
看護学領域／放射線技術科学領域／生体検査科学領域／
総合リハビリテーション科学領域



理工学部

Faculty of Science and Technology

科学力を養い、人間力を磨く

理工学部では、変化する現代社会に対応できる幅広い視野と科学・技術の発展に貢献できる力を養う教育カリキュラムを提供することによって、自然のしくみを探求する力、先端技術社会を支える科学を進展させ技術を創造する力、変化する現代社会が直面する課題を発見・分析・解決する力を養い、地域や国際社会に貢献する人材の育成を目指しています。

- 数物科学科
- 物質創成化学科
- 地球環境防災学科
- 電子情報工学科
- 機械科学科
- 自然エネルギー学科

大学院

理工学研究科

Graduate School of Science and Technology (Master's Course / Doctoral Course)

【博士前期課程】

理工融合を特徴とした高度専門教育

理工学研究科博士前期課程は、理工学に関わる教育を第一義とし、科学技術の高度化・多様化に順応することのできる高度専門職業人の育成を目指しています。4年間の学部教育と2年間の博士前期課程教育との連携を重視しつつ、基礎学問を探究する理学及び産業に直結する工学といった従来の既成概念にとらわれない、基礎と応用及びその境界領域を含む、学際性を重視した理工融合を特徴とする高度専門教育を行っています。

- 理工学専攻
数理科学／物理科学／物質創成化学／地球環境学／電子情報工学／
知能機械工学／新エネルギー創造工学／社会人入学特別

【博士後期課程】

未来を切り開く先端科学技術の創造

理工学研究科博士後期課程は、社会に役立つ物質・材料の開発とその応用技術の確立を目指す機能創成科学専攻並びに高度に発達した社会における自然災害・人的社会的災害に対する危機管理技術の確立を目指す安全システム工学専攻の2専攻構成になっています。それぞれの専攻では、理学や工学の既成概念にとらわれず、科学技術の高度化・多様化に順応できる幅広い視野を持ち、学際的課題を解決し得る柔軟で総合的な判断力を有する高度専門職業人及び研究者の養成に重点を置いた教育を行っています。

- 機能創成科学専攻
- 安全システム工学専攻

学部・大学院



農学生命科学部

Faculty of Agriculture and Life Science

生物学、農学、経済並びに工学における
実験と実習を重点的に行います

農学と生命科学分野の基礎的・専門的な知識を身につけた人材、課題探究・問題解決能力を備えた専門技術者・研究者として活躍できる人材及び豊かな人間性を身につけ、創造性と主体性を持って地域はもとより国際的にも活躍できる人材の育成を目指しています。

- 生物学
- 分子生命科学科
- 食料資源学科
- 国際園芸農学科
- 地域環境工学科

●附属教育研究施設

〈附属生物共生教育研究センター〉

藤崎農場／金木農場

〈附属遺伝子実験施設〉

〈附属白神自然環境研究センター〉

白神自然観察園



大学院

農学生命科学研究科 (修士課程)

Agriculture and Life Science (Master's Course)

農学生命科学分野において
高度で専門的な教育・研究を行います

農学生命科学研究科には、生物学、分子生命科学、生物資源学、園芸農学および地域環境工学の5つのコースがあります。それぞれの学生は自身の将来の希望に基づき、2つの教育プログラム、すなわち学術研究プログラム(研究者養成)または実践研究プログラム(専門技術者養成)からいずれかを選択できます。広範囲な技術を理解し、熟練した地域社会の発展に貢献できる高度専門技術者、国際的視野をもつ優れた技術者並びに時代の要請を先取りし先端的研究に挑戦できる研究者の養成を目指します。

●農学生命科学専攻

生物学コース／分子生命科学コース／生物資源学コース／

園芸農学コース／地域環境工学コース

大学院

地域社会研究科 (博士後期課程)

Regional Studies (Doctoral Course)

高度専門職業人の養成

地域社会研究科は、地域の持つ特有の課題に具体的に対処する人材を養成し、併せて実効性のある研究成果を生み出す教育研究機関として、活力ある地域社会の実現に積極的に貢献することを目的とし、2002年度に設置されました。本研究科は後期3年博士課程の独立研究科で、地域産業研究講座・地域文化研究講座・地域政策研究講座の3講座があります。3年間の学習と研究及び博士論文の作成によって「博士(学術)」の学位を取得できる指導体制をとっており、地域社会のさまざまな分野で活躍中の社会人も多数在籍しています。

●地域社会専攻

岩手大学大学院

連合農学研究科 (博士後期課程)

The United Graduate School of Agricultural Sciences, Iwate University
(Doctoral Course)

国際水準を目指す研究者や
高度専門職業人の養成

弘前大学大学院農学生命科学研究科(修士課程)、岩手大学大学院総合科学研究科農学専攻(修士課程)並びに山形大学大学院農学研究科(修士課程)の教員組織、研究設備及び施設の連合により設立されました。各大学は、それぞれ教育と研究活動の両面において特色を備えています。本研究科の設置の目的は、我が国の北部に位置する各構成大学の特色を生かした教育と研究体制を整えることによって、生物生産科学、生物資源科学、地球環境創生学に関する先端的・学際的諸研究を推進することです。これらの研究指導を通じて、高度の専門的能力と豊かな学識を備えた研究者・技術者を養成し、我が国の学術研究の進歩と関連産業並びに社会の発展に寄与するものであります。また、本研究科は、学術の国際交流を積極的に進める体制を作り、最近著しく増加している外国人留学生の受け入れについて、積極的に応じています。

- 生物生産科学専攻
- 生物資源科学専攻
- 地域環境創生学専攻

附属図書館



附属図書館

University Library

地域に開かれた“知の交錯する場所”へ

弘前大学附属図書館は1949年5月に設置され、附属図書館本館、医学部分館の構成で運用されています。現在、約82万冊の図書資料を所蔵し、電子ジャーナル約7,200誌や電子ブック5,200点の閲読が可能です。利用サービスは、休業期間中を除き土曜日、日曜日にも開館し、教育・研究活動を支援すると共に地域社会にも公開し、一般の方への貸出も行っています。また、ホームページにより、利用案内、蔵書目録、電子ジャーナル、大学研究情報等の情報発信を行っています。

蔵書数

平成31年3月31日現在

区分	本館		医学部分館		合計
	和漢書	洋書	和漢書	洋書	
合計	513,279	162,619	82,060	67,860	825,818

利用状況

平成30年度

区分	開館日数	入館者数	貸出	
			人数	冊数
本館	298	223,354	25,631	43,542
医学部分館	330	35,135	8,238	14,220
合計		258,489	33,869	57,762



1階新着図書展示コーナー



「こざん刺し」や「ブナコ」のライトがお洒落な閲覧室



グループ学習できる「アクティブ・ラーニング・エリア」



明るく開放的な「オープンラウンジ」



太宰治自筆ノートなど貴重な資料も保管



手動式集密書架の収納スペース

医学部附属病院



医学部附属病院

University Hospital

生命倫理に基づいた高度医療の提供、開発、教育

医学部附属病院は70年余にわたり、北東北医療圏の中心的中核病院として高度・高質医療の提供、先進医療の開発、医療従事者の教育・研修、それらを通しての地域貢献という役割を果たし、発展を続けています。

診療科等

- 消化器内科 ●内分泌内科 ●小児科 ●整形外科 ●放射線診断科 ●歯科口腔外科
- 血液内科 ●糖尿病代謝内科 ●呼吸器外科 ●皮膚科 ●産科婦人科 ●病理診断科
- 膠原病内科 ●感染症科 ●心血管外科 ●泌尿器科 ●麻酔科 ●救急科
- 循環器内科 ●脳神経内科 ●消化器外科 ●眼科 ●脳神経外科 ●リハビリテーション科
- 呼吸器内科 ●腫瘍内科 ●乳腺外科 ●耳鼻咽喉科 ●形成外科 ●総合診療部
- 腎臓内科 ●神経科精神科 ●甲状腺外科 ●放射線治療科 ●小児外科 ●高度救命救急センター

高度救命救急センター

医学部附属病院には、緊急被ばく医療にも対応する高度救命救急センターが稼働しています。



センター建造物とヘリポート



センター地下1階
特殊処置室(訓練の様様)



災害派遣医療チーム (DMAT)



ナビゲーションシステム「O-arm」



ハイブリッド手術システム

病床数

令和元年5月31日現在

診療科	病床種別数		
	一般	精神	感染
消化器内科/血液内科/膠原病内科	35		
循環器内科/腎臓内科	37 (47)		
呼吸器内科/感染症科	26		
内分泌内科/糖尿病代謝内科	30		
脳神経内科	9		
腫瘍内科	12		
神経科精神科		41	
小児科	36		
呼吸器外科/心臓血管外科	25		
消化器外科/乳腺外科/甲状腺外科	45		
整形外科	48		
皮膚科	12		
泌尿器科	37		
眼科	26		
耳鼻咽喉科	34		
放射線治療科	19		
放射線診断科			
産科婦人科	38		
麻酔科	2		
脳神経外科	21		
形成外科	15		
小児外科	6		
歯科口腔外科	12		
救急科	2		
リハビリテーション科	4		
感染症病床			6
RI	5		
ICU	16		
ICTU	3		
NICU	6		
GCU	10		
SCU	6		
高度救命救急センター	20 (10)		
合計	597	41	6

※1 ()内の病床数は、高度救命救急センターの後方病床10床を含む病床数。

※2 ()内の病床数は、後方病床10床を除く病床数。

患者数

平成30年度

診療科	入院患者数		外来患者数	
	患者延数	1日平均患者数	患者延数	1日平均患者数
消化器内科/血液内科/膠原病内科	12,068	33.1	33,270	136.4
循環器内科/腎臓内科	17,357	47.6	21,082	86.4
呼吸器内科/感染症科	9,909	27.1	9,771	40.0
内分泌内科/糖尿病代謝内科	9,041	24.8	26,682	109.4
脳神経内科	2,964	8.1	5,207	21.3
腫瘍内科	4,197	11.5	5,802	23.8
神経科精神科	9,975	27.3	26,149	107.2
小児科	14,451	39.6	8,309	34.1
呼吸器外科/心臓血管外科	8,561	23.5	4,962	20.3
消化器外科/乳腺外科/甲状腺外科	14,206	38.9	12,813	52.5
整形外科	15,408	42.2	25,235	103.4
皮膚科	4,315	11.8	16,129	66.1
泌尿器科	11,605	31.8	18,148	74.4
眼科	8,416	23.1	17,404	71.3
耳鼻咽喉科	10,984	30.1	15,725	64.4
放射線治療科	6,829	18.7	23,245	95.3
放射線診断科	25	0.1	21,753	119.5
産科婦人科	10,622	29.1	21,138	86.6
麻酔科	221	0.6	12,719	52.1
脳神経外科	10,271	28.1	6,979	28.6
形成外科	4,365	12.0	4,356	17.9
小児外科	1,306	3.6	2,197	9.0
歯科口腔外科	4,296	11.8	11,457	47.0
救急科	1,251	3.4	853	3.5
リハビリテーション科	695	1.9	31,073	127.3
総合診療部	-	-	772	3.2
合計	193,338	529.7	383,230	1,570.6

〔注〕外来診療実日数244日

放射線科(4月~6月)は、放射線治療科に計上。

放射線診断科の入院患者は、放射線治療科の病床を利用。

区分	入院患者数	外来患者数
26年度	190,419	360,482
27年度	196,773	360,111
28年度	192,057	364,502
29年度	193,846	375,887
30年度	193,338	383,230

附置研究所



設置時期：平成22年10月

被ばく医療総合研究所

Institute of Radiation Emergency Medicine

被ばく医療総合研究所では、外部及び内部被ばく線量評価の高度化、環境中の放射性核種と環境放射線の分析法・計測法の新規開発、放射性核種の環境動態解析、染色体異常を用いた被ばく線量評価や発がんのメカニズムなど、被ばく医療に資する基礎的研究を行っています。青森県には多くの原子力関連施設があることから、万が一の原子力災害や放射線被ばく事故に備えることが重要です。福島原発事故への対応を受けて、国の原子力災害時及び平常時における被ばく医療体制が大きく見直され、弘前大学は原子力災害に対応するナショナルセンターに指定されました。本研究所はその中心的な役割を果たすことが期待されています。また、2019年度から「放射能環境動態・影響評価ネットワーク共同研究拠点」として文部科学省から認定を受けました。弘前大学が掲げた戦略性が高く意欲的な目標・計画の取組みのひとつである「被ばく医療における安心・安全を確保するための国際的な放射線科学教育研究」を推進する専門家集団として、国際的な視野を有する専門的人材の育成、世界トップレベルの研究開発や国際的なネットワーク構築にも取り組んでいます。

【研究部門】

- 放射線生物学部門 ●放射線化学部門
- 放射線物理学部門 ●被ばく医療学部門



設置時期：平成30年4月

地域戦略研究所

Institute of Regional Innovation

地域戦略研究所は、北日本新エネルギー研究所及び食料科学研究所の統合再編により、新エネルギーの研究開発及び食料科学に関わる専門的かつ学際的な研究を推進し、本学の教育研究の進展と社会及び産業の発展に資することを目的に、平成30年4月に設置されました。3つの分門からなり、新エネルギー研究部門では、青森県内に豊富に存在する再生可能エネルギーを中心としたエネルギー資源の開発及び利活用と地域の特性を生かしたエネルギーシステムに関する研究・教育・実践を行います。食料科学研究部門では、食品の機能的な研究を通じて青森県の農林水産物の高付加価値化を図り、「北日本におけるグローバル食の成長戦略」の核となる拠点形成をめざします。戦略企画部門では、大学と地域との連携を強化し、社会実装や地域発展につながる研究を通じ、地域の課題解決をめざします。新たな研究所は、エネルギーと食料を軸とした地域支援をビジョンとして活動し、研究者と地域の方々を結び付けるハブとしての機能も兼ね備え、大学として教育研究を通じて人的資源の発展にも貢献していきます。

【研究部門】

- 新エネルギー研究部門（青森市松原）
- 戦略企画部門 ●食料科学研究部門（青森市柳川）

学内共同教育研究施設



生涯学習教育研究センター

設置時期：平成8年5月

生涯学習教育研究センターは、地域の社会教育・生涯学習に関する教育及び研究を行い、地域における社会教育・生涯学習の振興に資することを目的に設置された施設です。地域づくりや子育て等地域課題の解決に取り組む実践的な活動をしている方や専門家の活動を支援する事業に積極的に取り組んでいます。また、一般市民の方々を対象とした公開講座も実施しております。地域と大学を結ぶ窓口として、これまで以上に地域連携を深めていきます。



保健管理センター

設置時期：昭和42年6月

保健管理センターでは、学生と職員が心身ともに健康な生活を送れるように援助やサービス（健康診断、応急処置、健康相談、カウンセリングなど）を提供し、学生と職員の健康維持と病気予防のための研究調査を行っています。フィジカルヘルスサービスとして、健康診断で所見があった方、あるいは健康に問題をお持ちの方への説明、相談に応じています。また、メンタルヘルスサービスとしては、学生・職員生活を送る上でのさまざまな悩みや心配事の相談に応じます。



アイソトープ総合実験室

設置時期：平成11年10月

アイソトープ総合実験室は、放射性同位元素 (RI) を利用した教育・研究の学内共同利用施設です。非密封 RI を使用した 40 人規模の学生実習や、医学における基礎的研究、臨床応用研究を中心に、理工学・農学などの幅広い分野の実験で全学的に利用されています。また、法令で義務づけられた教育訓練を実施し、放射性同位元素の使用に関し、適切な安全管理と利用の促進を旨に最善の教育ならびに研究の場を提供するために努めています。



出版会

設置時期：平成16年6月

出版会は、学術に関連する書籍の出版を通じて、我が国の高等教育・学術・科学の発展、および北東北を中心とする地域社会・文化の振興に寄与することを目的としています。本学の教職員による研究・教育の最新の優れた成果、地域社会の様々な課題に関する取り組み、地域の魅力的な文化の再発見など、多様なテーマを扱った魅力的な書籍の刊行に邁進しています。



資料館

設置時期：平成24年10月

資料館は、本学の歴史を伝える貴重な資料、地域社会・文化・自然に関連する研究・教育の成果を展示・紹介し、本学の教育に資するとともに、北東北を中心とする地域との連携に寄与することを目的としています。弘大ねぶた絵の変遷、旧制弘前高校時代の太宰治の自筆ノート、各部局が所蔵する貴重資料の常設展示、教職員および学内の研究・教育プロジェクトによる取り組みの成果を紹介する企画展示の運営・拡充に邁進しています。

本部

COC 推進本部

COC Promotion Office

設置時期：平成26年11月

COC推進本部は、本学における地域活性化の中核的拠点としての機能強化を図るため、地（知）の拠点整備事業（COC事業）を総括し、地域を志向した全学的な教育・研究・社会貢献を実施するとともに、地域との協働による地方創生推進を目的に設置されました。

現在、青森県は少子高齢化による人口減少や地域コミュニティの衰退など多様な課題を抱えており、本学も課題解決の役割を果たしていきます。

COC推進本部では、青森県における地域課題を解決し、地域の産業・生活・社会システムに新たな価値を創造できる人材の育成（COC事業）と、学生にとって魅力ある就職先の創出や地域が求める人材を養成するための教育カリキュラム改革を推進（COC+事業）します。県内の多くの機関と連携を図りながら、地域活性化への貢献に向けた取り組みを進めています。



国際連携本部

Department of International Education & Collaboration

設置時期：平成25年4月

国際連携本部は、本学の国際化推進に係る施策の企画立案等を行い、大学間協定校等との交流を通じ、本学の教育研究の更なる国際化に資することを目的としています。平成28年10月、国際教育センターを統合し、本学学生への留学支援、外国人留学生の受け入れ支援のための教育、助言、地域の国際交流支援などを行っています。



情報連携統括本部

Information Management Headquarters

設置時期：平成31年4月

情報連携統括本部は、全学情報統括責任者（CIO, CISO）・理事（企画担当）を本部長とし、弘前大学における情報戦略の企画・立案並びに情報システムの管理運営を行うとともに、情報セキュリティ対策に係る業務を推進することを目的として平成31年4月に設置されました。本部には情報戦略の企画立案および推進に関する業務を行う情報戦略企画室と、旧総合情報処理センターを改組した情報基盤センターが置かれています。情報基盤センターには、情報基盤システムや学内LANシステムの管理運用を担う情報基盤運用部門に加え、新たに全学的な情報セキュリティインシデント対応や対策の運用管理を担う情報管理対策部門を設け、本学構成員の皆様の安全安心で快適なコンピュータ・ネットワーク利用を支えます。



地域創生本部

Office for Regional Revitalization

設置時期：平成30年10月

地域活性化の中核的拠点としての機能の充実・強化に向けて、地域の特性を活かした施策を大学が戦略的かつ一体的に推進するため、平成30年10月、理事が機構長である社会連携推進機構を発展的に改組し、新たに学長を本部長とする地域創生本部を設置しました。

組織のトップを学長が務め、全ての理事、学部長・研究科長等を構成員とする本部は、地域活性化に関する施策の基本方針を策定し、地域活性化の観点で学内組織を横断的に総括する役割を担うとともに、本部内に設置した地域創生推進室においては、基本方針を踏まえた本部の運営、地域活性化施策の企画・立案、総合調整や総合窓口機能の強化に取り組んでいきます。

本部が主体となって取り組む地域活性化のための主な施策として、活力ある豊かな地域社会の形成と発展等に資するため、県内自治体や金融機関等との包括連携協定の締結を推進しており、県内自治体とは、大学と地域との協働による取組として、地域課題の解決に向けた連携調査研究事業を展開しています。また、地域社会との連携活動を活性化させ、自治体等との連携体制をより一層強化するとともに、地域の人材育成に寄与するため、協定機関の職員を大学に受入れる連携推進員制度を展開しており、地域とのネットワークの強化を図っています。

このほか、むつ市・青森中央学院大学と共同で設置した「むつサテライトキャンパス」や深浦町と共同で設置した「深浦エコサテライトキャンパス」においては、恵まれた自然や魅力ある歴史・文化について、教員・学生が現地に滞在して地域と交流しながら学び、また地域課題へ対応し、地域社会の発展に取り組む滞在型学習や公開講座等の事業を推進しています。

地域創生本部は、設置目的の達成に向けて、本学のあらゆる活動に関わりを持ちつつ、教育・研究活動を通じた地域貢献を果たしていきます。

地域活性化に関する施策の基本方針

弘前大学は「世界に発信し、地域と共に創造する弘前大学」のスローガンを掲げ、社会連携・地域貢献に取り組んできました。

平成30年10月1日には学長を本部長とする「地域創生本部」を設置し、地域活性化の中核的拠点としての機能の充実・強化に向けて、地域の特性を活かした施策を大学が戦略的かつ一体的に推進することとした。

地域創生本部は、この設置目的の達成に向けて、本学のあらゆる活動に関わりを持ちつつ、教育・研究活動を通じた地域貢献を果たしていくため、地域創生本部が主体となって取り組む地域活性化に関する施策の基本方針を策定する。

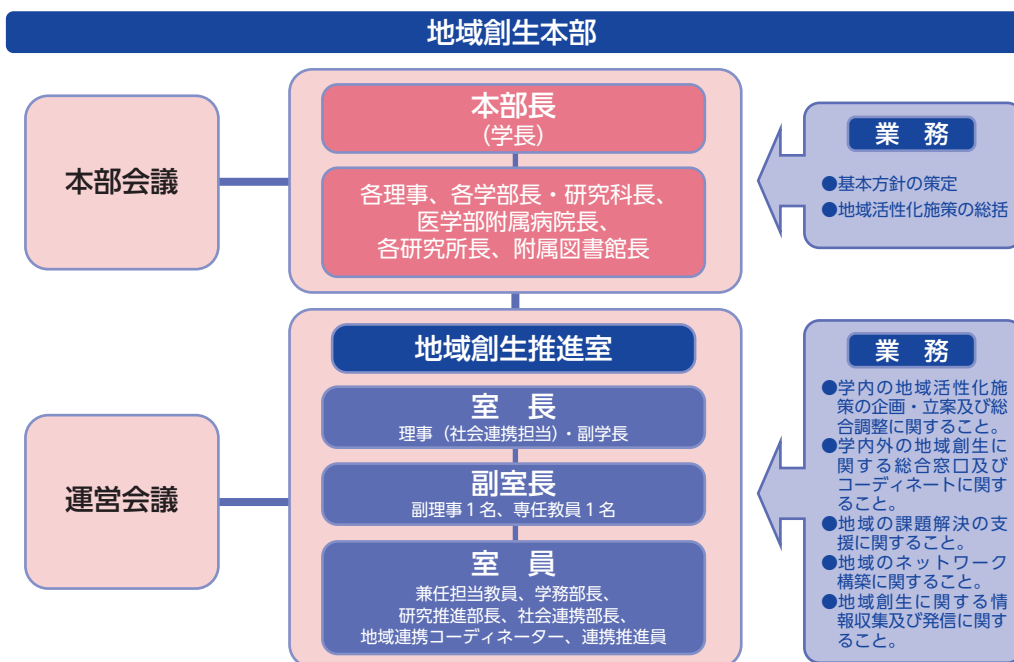
1. 地域活性化に寄与する研究や教育を通じて、自治体や企業、地域の団体等と連携し、地域課題の解決に取り組む。
2. 地域課題を取り入れた教育を展開するとともに、グローバルな視点を持ち地域を牽引するリーダーやコーディネーターなどの地域活性化に貢献する人材育成に取り組む。
3. 地域との連携を推進するための企画・調整を一元的に行うとともに、ネットワーク形成の強化を図りつつ、積極的に情報発信する。



地域創生本部の設置



連携推進員受入式



本部

機構

教育推進機構

Institute for the Promotion of Higher Education Information

設置時期：平成24年7月

弘前大学の教育理念と目標に沿い、本学の学士課程教育及び大学院課程教育の充実を図るとともに、教育の改善・充実、学生の確保、キャリア形成に係る調査・研究、企画立案及び実施を総合的、全学的に行うことを目的として設置されました。



教養教育開発実践センター

設置時期：平成27年10月

教養教育開発実践センターは、本学における全学担当制による教養教育に関する企画立案、調整及び教養教育の実施並びに教育内容・授業方法の改善及び広報活動を行うとともに、教養教育に関する自己点検・評価について担当しています。



アドミッションセンター

設置時期：平成27年10月

アドミッションセンターは、本学の入学者受入方針に応じた優れた入学者を確保するための入学者選抜方法等に関する調査研究・企画立案と、入試広報に関する企画立案・実施を目的としています。「調査研究部門」と「入試広報部門」の2つの部門が置かれ、業務を行っています。



キャリアセンター

設置時期：平成28年4月

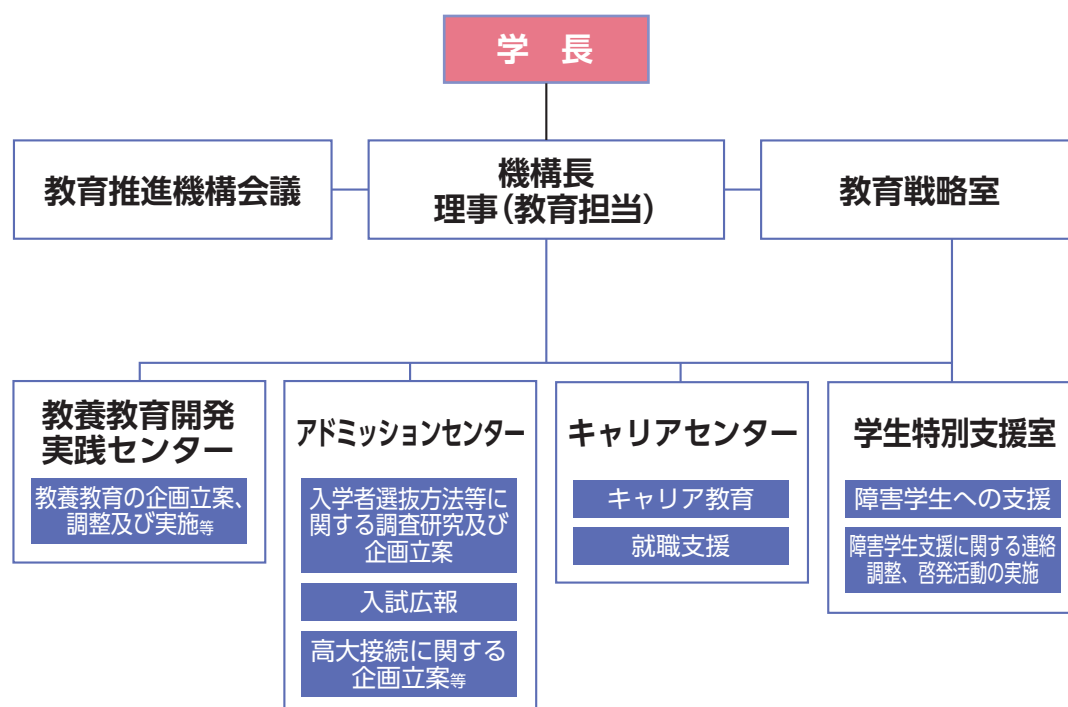
キャリアセンターは、キャリア教育及び就職支援を通して本学学生の進路決定や生涯を通じた持続的な就業力の育成をより円滑に推進することを目的としています。インターンシップ、就職ガイダンス、業界研究会、各種企業説明会、就職相談、求人開拓及び情報収集等、さまざまなキャリア支援を行っています。



学生特別支援室

設置時期：平成28年4月

学生特別支援室は、本学における障害のある学生への全学的な支援を推進し、障害学生の円滑な学修等に寄与することを目的としています。障害等による修学・生活上の困難の軽減・解消等の相談に、コーディネーター、カウンセラー等が対応しています。





研究・イノベーション推進機構

Institute for the Promotion of Research and Innovation

設置時期：平成25年12月

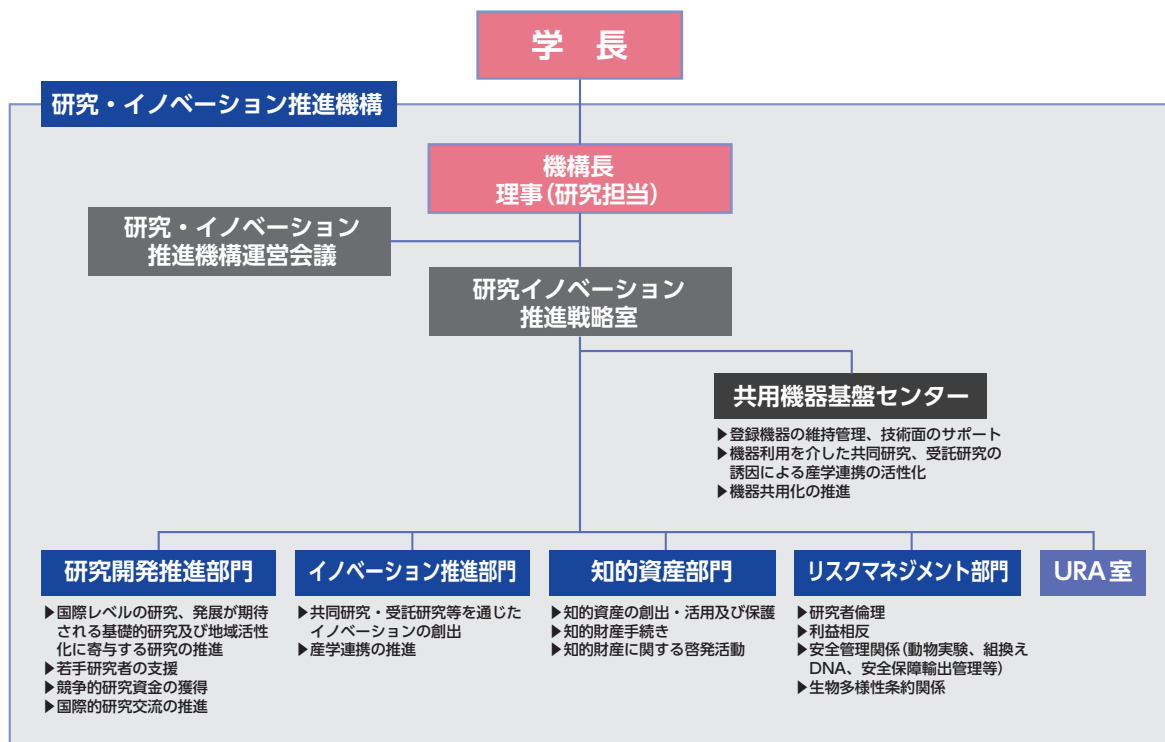
弘前大学では、基礎的研究及び地域活性化に寄与する研究推進を図ることを研究目標とし、再生可能エネルギー、環境、被ばく医療、食の4テーマを重点分野として位置付け、関連する諸課題を中心とした研究を推進しております。

弘前大学研究・イノベーション推進機構は、本学の理念に基づき、研究、イノベーション及び産学連携を強力に推進するため、平成27年に研究開発推進部門、イノベーション推進部門及び知的資産部門の3部門を設置し、平成30年度には、近年の大学における研究及び産学連携活動におけるリスクマネジメントが重要視されていることを踏まえ、新たにリスクマネジメント部門を設置しました。さらに、平成31年4月には、学内共同教育研究施設の機器分析センターを機能強化して共用機器基盤センターを設置したほか、URAの組織としての位置づけを明確化するためURA室を設置しました。センター及び各部門には、それぞれセンター長及び部門長を置き、学内の教員を充て、教職協働による機構運営を行っています。

また、本機構の運営に関する事項の審議並びに本学の研究活動及びイノベーション創出のための方針・戦略等の企画、立案を行う審議機関として「研究・イノベーション推進機構運営会議」を設置し、機構の重要事項等について審議することとしています。

これまでの産学連携活動に加え、研究活動の目標及び4つの重点分野の研究推進とともに、戦略的研究開発、イノベーションの推進、戦略的知的資産の活用及びリスクマネジメントの管理を行い、本学が目標として掲げる「イノベーションの創出と人材育成」を通じて、地域貢献のさらなる推進を進め、研究活動の活性化に取り組みます。

機構



機構

COI研究推進機構

The Center of Healthy Aging Innovation

設置時期：平成25年12月

COI研究推進機構は、平成25年に弘前大学が文部科学省・科学技術振興機構（JST）の革新的イノベーション創出プログラム「COI（センター・オブ・イノベーション）STREAM」全国12拠点（平成31年4月現在：18拠点）の一つとして採択されたことで誕生しました。（拠点名「真の社会イノベーションを表現する革新的『健やか力』創造拠点」）。

COIとは、「10年後の理想とする社会」（将来像）からバックキャスト（振り返り）した研究活動を行ない、創出された新しい成果を社会実装させることで大きなイノベーションを起こすために長期間の研究を支援する文部科学省・国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の大型研究開発支援プログラムです。

弘前大学 COIの取組は国の中間評価において、平成28年には医療健康分野で唯一の「最高評価 S」を獲得し、引き続いての平成30年には前回評価を超える「S+」を獲得して、全国的に大きな注目を集めています。

また平成31年には、内閣府主催「日本オープンイノベーション大賞」（産学連携、大企業とベンチャー企業との連携、自治体と企業の連携など、組織の壁を超えて新しい取り組みに挑戦する「オープンイノベーション」の模範的なプロジェクトを政府が表彰）の栄えある第1回、最高賞である「内閣総理大臣賞」を受賞し、大きく評価されています。

弘前大学は青森県の平均寿命が全国最下位であることから、短命県返上を目的に、医学研究科社会医学講座特任教授中路重之が中心となって、平成17年度から弘前市の岩木地区で大規模住民健康調査「岩木健康増進プロジェクト健診」を実施しています。

弘前大学 COIではこの研究を拠点の中心に据え、短命県返上を実現した「人生90年型シティ」をビジョンに、岩木健診で蓄積した2000項目の健康ビッグデータを活用することで、認知症や生活習慣病など病気の疾患予兆法や予兆因子に基づいた予防法、認知症サポートシステムなどの開発を目指しています。

社会実装＝ビジネス化を前提に、産学官連携で取り組むことも COIのテーマです。弘前大学 COIに参画する企業数は今や40社以上に及び、研究機関も合わせると約50機関に達します。企業間や大学間などの連携も多方面で構築され、社会実装を強力に推し進めているのです。

産学官に加えて「民」を巻き込んでいることも弘前大学 COIの特長。人材育成に注力し、地域・職域の健康リーダー研修や、青森県内小中学校の健康授業などを積極的に支援し、子どもから大人まで巻き込んだ健康啓発を全県で実施し、社会基盤づくりを同時展開しています。さらに平成28年12月、弘前大学は文部科学省の「地域科学技術実証拠点整備事業」全国22拠点の一つに採択されました。本事業は文部科学省が地方創生を目的に、産学官が連携する施設整備などを支援するものです。

本事業の採択を受け、平成29年2月、本学は健康増進機能を集約した全学組織として「健康未来イノベーションセンター」を創設しました。平成30年3月には同センター名を冠した拠点施設が医学部キャンパス内に新設され、県や市、企業など COI参画機関や住民が一堂に会してビジネスを創出する場が完成しました。同センターは健診と啓発を即日で行う「新型（啓発型）健診」の開発・実証を行うとともに、住民参加型の健康づくり施設としての機能を有しています。最終的には、弘前大学発の地方創生に向けた青森県全体の雇用創出や新産業創出、世界人類の健康づくり（SDGs）に寄与することを目指します。



データ編



弘前大学ロゴマーク

【コンセプト】弘前市が全国に誇れる「桜」をモチーフにし、5学部の桜の花が集結し、未来に向けひとつ大きな花を開花させるというイメージを図案化。中央にある丸は地球をイメージしており、弘前大学の卒業生がビジネス&研究において優秀な人材として貢献し、世界を飛びまわるという工夫を加えた表現にもしております。また、それぞれのカラーは、5学部のカラーを表現しており、(赤)医学部、(橙)教育学部、(緑)農学生命科学部、(紺)理工学部、(紫)人文社会科学部としています。さらに、地球の周りに桜を散りばめているようなイメージは、人工衛星的なイメージにも見え「地域発信の拠点となる弘前大学」という意味もあります。全体の色味としても現代風のカラフルな色彩にしており、フレッシュ感と躍動感、そして楽しいキャンパスライフという活気に満ちあふれたマークに仕上がっています。

制定日：平成18年7月24日



役職員等

令和元年5月1日 現在

役員等	
学長	佐藤 敬
理事(企画担当)・副学長	吉澤 篤
理事(総務担当)・副学長・事務局長	渡邊 淳平
理事(教育担当)・副学長	伊藤 成治
理事(研究担当)・副学長	郡 千寿子
理事(社会連携担当)・副学長	石川 隆洋
監事	山内 浩
監事	澁谷 尚子
副学長	柏倉 幾郎
副学長	若林 孝一
学長特別補佐	井口 泰孝
学長特別補佐	神本 正行
学長特別補佐	福田 眞作

学長選考会議委員	
経営協議会委員	岡井 眞
経営協議会委員	今井 高志
経営協議会委員	櫛引 利貞
経営協議会委員	熊地 貴志
経営協議会委員	永澤 弘夫
教育研究評議会評議員	今井 正浩
教育研究評議会評議員	若林 孝一
教育研究評議会評議員	佐藤 裕之
教育研究評議会評議員	佐々木長市
教育研究評議会評議員	北原 啓司
理事(企画担当)・副学長	吉澤 篤
理事(研究担当)・副学長	郡 千寿子

経営協議会委員	
学長	佐藤 敬
理事(企画担当)・副学長	吉澤 篤
理事(総務担当)・副学長・事務局長	渡邊 淳平
理事(教育担当)・副学長	伊藤 成治
理事(研究担当)・副学長	郡 千寿子
理事(社会連携担当)・副学長	石川 隆洋
医学部附属病院長(学長特別補佐)	福田 眞作
人文社会・教育学系教授	安川あけみ
青森県副知事	青山 祐治
㈱日産サティオ弘前代表取締役社長	今井 高志
岡井公認会計士事務所所長	岡井 眞
カネショウ㈱代表取締役社長	櫛引 利貞
㈱みちのく銀行特別顧問	熊地 貴志
NPO法人ぷらっと下北代表	島 康子
弘前商工会議所名誉会頭	永澤 弘夫
預金保険機構理事長	三國谷勝範
㈱東奥日報社弘前支社長	南谷 毅
元弘前市教育委員会委員長	九戸 眞樹

教育研究評議会評議員	
学長	佐藤 敬
理事(企画担当)・副学長	吉澤 篤
理事(総務担当)・副学長・事務局長	渡邊 淳平
理事(教育担当)・副学長	伊藤 成治
理事(研究担当)・副学長	郡 千寿子
理事(社会連携担当)・副学長	石川 隆洋
副学長	柏倉 幾郎
副学長	若林 孝一
人文社会科学部部長	今井 正浩
教育学部部長	戸塚 学
農学生命科学部部長	佐々木長市
大学院医学研究科長	若林 孝一
大学院保健学研究科長	齋藤 陽子
大学院理工学研究科長	佐藤 裕之
医学部附属病院長	福田 眞作
人文社会・教育学系長	今井 正浩
医学系長	若林 孝一
自然科学系長	佐々木長市
地域イノベーション学系長	北原 啓司
大学院地域社会研究科長	北原 啓司
被ばく医療総合研究所長	床次 眞司
地域戦略研究所長	本田 明弘
附属図書館長事務取扱	郡 千寿子
国際連携本部長	杉原かおり
人文社会・教育学系教授	安川あけみ

人文社会科学部	
学部長	今井 正浩

教育学部	
学部長	戸塚 学
附属学校園統括校長	篠塚 明彦
附属幼稚園長	上之園哲也
附属小学校長	高橋 眞弓
附属中学校長	伊藤 隆
附属特別支援学校長	川村 泰弘
附属教育実践総合センター長	篠塚 明彦
附属教員養成学研究開発センター長	福島 裕敏
附属教員免許状更新講習支援室長	長南 幸安

大学院医学研究科	
研究科長	若林 孝一
附属脳神経血管病態研究施設長	今泉 忠淳
附属高度先進医学研究センター長	伊東 健
附属動物実験施設長	上野 伸哉
附属子どものこころの発達研究センター長	中村 和彦

大学院保健学研究科	
研究科長	齋藤 陽子

医学部附属病院	
病院長	福田 眞作

大学院理工学研究科	
研究科長	佐藤 裕之
附属地震火山観測所長	小菅 正裕
附属医用システム創造フロンティアセンター長	笹川 和彦

農学生命科学部	
学部長	佐々木長市
附属生物共生教育研究センター長	前田 智雄
附属遺伝子実験施設長	坂元 君年
附属白神自然環境研究センター長	石川 幸男

大学院地域社会研究科	
研究科長	北原 啓司

附置研究所	
被ばく医療総合研究所長	床次 眞司
地域戦略研究所長	本田 明弘

学内共同教育研究施設等	
生涯学習教育研究センター長	伊藤 成治
保健管理センター所長	高梨 信吾
アイソトープ総合実験室長	床次 眞司
出版編集長	足達 薫
資料館長	足達 薫

附属図書館・医学部分館	
館長事務取扱	郡 千寿子
医学部分館長	今泉 忠淳

教育研究院	
人文社会・教育学系長	今井 正浩
医学系長	若林 孝一
自然科学系長	佐々木長市
地域イノベーション学系長	北原 啓司
教員養成部門長	戸塚 学

本部	
COC推進本部長	佐藤 敬
国際連携本部長	杉原かおり
地域創生本部長	佐藤 敬
情報連携統括本部長	吉澤 篤

機構	
教育推進機構長	伊藤 成治
研究・イノベーション推進機構長	郡 千寿子
COI研究推進機構長	工藤 寿彦

評価室	
室長	吉澤 篤

法人内部監査室	
室長	加藤 恵吉

苦情処理室	
農学生命科学部部長	佐々木長市
大学院地域社会研究科長	北原 啓司
大学院医学研究科長	若林 孝一
医学部附属病院総務課長	中野 公雄
総務部人事課課長補佐	三上 伸悦

男女共同参画推進室	
室長	藤崎 浩幸

学長戦略室	
室長	佐藤 敬

教職員数

令和元年5月1日 現在

	学 長		理事・副学長		監 事		学長特別補佐		副理事		計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
学長・理事・監事等	1		6	1	1	1(1)	3(2)		3(1)		14(3)	2(1)	16(4)

() は非常勤で内数 ※副学長、学長特別補佐、副理事については併任の者を含む

区 分	教 授		准教授		講 師		助教		助手		附属学校教員		計		事務職員 技術職員等		合計		総計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
現 員	194	25	172	32	88	28	142	58	32	21	47	48	675	212	356	735	1,031	947	1,978
事務局															112	43	112	43	155
人文社会科学部	22	6	24	6	8	3							54	15	5	3	59	18	77
教育学部	32	6	22	6	12	8		1			47	48	113	69	10	5	123	74	197
大学院医学研究科	40	2	27	2	22	1	51	22	14	6			154	33	11	7	165	40	205
大学院保健学研究科	19	9	9	6	10	8	13	11	2	3			53	37	7	2	60	39	99
医学部附属病院			8	1	29	4	49	17	15	12			101	34	161	644	262	678	940
大学院理工学研究科	40	1	37	3	3		13	1	1				94	5	13	10	107	15	122
農学生命科学部	27	1	34	4			12	2					73	7	16	6	89	13	102
大学院地域社会 研究科	2		2										4	0			4	0	4
被ばく医療 総合研究所	3						3						6	0	3		9	0	9
地域戦略研究所	6		5					2					11	2	4		15	2	17
生涯学習教育 研究センター					1								1	0			1	0	1
保健管理センター	1			1		1							1	2		2	1	4	5
アイソトープ 総合実験室													0	0		1	0	1	1
附属図書館													0	0	3	8	3	8	11
国際連携本部			2	2				1					2	3	3	3	5	6	11
地域創生本部			1										1	0			1	0	1
情報連携統括本部													0	0	5	1	5	1	6
教育推進機構	1		1	1	2	2	1						5	3			5	3	8
COI研究推進機構	1				1	1							2	1			2	1	3
COC推進室													0	0	3		3	0	3
男女共同参画推進室								1					0	1			0	1	1

※事務局には学長戦略室及び法人内部監査室の事務職員を含む



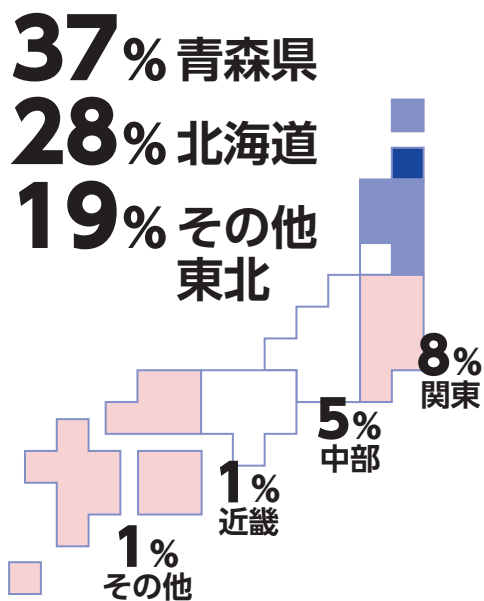
入学者

令和元年5月1日 現在

	学 部	学科・課程	入学定員	入学志願者				入学者数		
				男	女	計	倍率	男	女	計
学 部 ※私費外国人留学生入試は除く。	人文社会科学部		265	478	423	901	3.40	111	170	281
	教育学部		170	283	394	677	3.98	71	108	179
	医学部	医学科	112	439	302	741	6.62	56	56	112
		保健学科	200	152	367	519	2.60	64	140	204
		小計	312	591	669	1,260	4.04	120	196	316
	理工学部		360	935	203	1,138	3.16	295	66	361
	農学生命科学部		215	501	330	831	3.87	135	90	225
計			1,322	2,788	2,019	4,807	3.64	732	630	1,362
大学院 ※私費外国人留学生特別選抜は除く。	人文社会科学研究科	修士課程	16	17	13	30	1.88	10	9	19
	教育学研究科	修士課程	16	8	12	20	1.25	7	9	16
		専門職学位課程	16	16	7	23	1.44	12	7	19
	医学研究科	博士課程	60	33	18	51	0.85	32	18	50
	保健学研究科	博士前期課程	30	28	12	40	1.33	24	9	33
		博士後期課程	12	10	4	14	1.17	10	4	14
	理工学研究科	博士前期課程	120	110	16	126	1.05	91	14	105
		博士後期課程	12	4	1	5	0.42	4	1	5
	農学生命科学研究科	修士課程	60	41	16	57	0.95	38	15	53
地域社会研究科	博士後期課程	6	3	4	7	1.17	2	4	6	
計			348	199	69	373	1.07	164	59	320
2年次編入学	医学部	医学科	20	85	61	146	7.30	11	9	20
3年次編入学 *は、定員外の募集人員を表す	医学部	保健学科	30	6	8	14	0.47	1	5	6
	理工学部		10	15	3	18	1.80	1	0	1
	農学生命科学部		* 若干名	10	7	17		4	1	5

入学者の出身地

令和元年5月1日 現在



区 分	入学者数	出身地							
		北海道	青森県	その他 東北	関東	中部	近畿	その他	
人文社会科学部	281	95	115	50	12	7	0	2	
教育学部	179	19	79	48	17	14	1	1	
医学部	医学科	112	4	52	13	29	9	5	0
	保健学科	204	59	72	58	7	5	1	2
	小計	316	63	124	71	36	14	6	2
理工学部	361	141	118	53	21	14	8	6	
農学生命科学部	225	61	69	40	22	22	4	7	
計	1,362	379	505	262	108	71	19	18	

学部学生数

令和元年5月1日 現在

学部	学科・課程	入学定員	第2年次編入	第3年次編入	収容定員	現員																					
						1年次			2年次			3年次			4年次			5年次			6年次			総計			
						計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女				
人文社会科学部	文化創生課程	110			440	115	32	83	111	36	75	112	40	72	106	45	61							444	153	291	
	社会経営課程	155			620	172	83	89	162	93	69	158	97	61	164	96	68								656	369	287
	計	265			1,060	287	115	172	273	129	144	270	137	133	270	141	129								1,100	522	578
人文学部	人間文化課程														22	13	9								22	13	9
	現代社会課程														22	10	12								22	10	12
	経済経営課程														18	16	2								18	16	2
	計				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62	39	23								62	39	23
教育学部	学校教育教員養成課程	150			600	158	71	87	152	65	87	156	77	79	169	90	79								635	303	332
	養護教諭養成課程	20			80	21	0	21	20	0	20	20	0	20	21	0	21								82	0	82
	生涯教育課程														8	5	3								8	5	3
	計	170			680	179	71	108	172	65	107	176	77	99	198	95	103								725	308	417
医学部	医学科	112	20		772	114	58	56	157	84	73	140	76	64	147	95	52	111	69	42	124	83	41	793	465	328	
	保健学科	200		30	860	205	64	141	204	66	138	208	68	140	213	70	143								830	268	562
	計	312	20	30	1,632	319	122	197	361	150	211	348	144	204	360	165	195	111	69	42	124	83	41	1,623	733	890	
理工学部	数物科学科	78		2	316	76	66	10	81	72	9	75	67	8	80	66	14								312	271	41
	物質創成化学科	52		1	210	52	35	17	52	42	10	51	37	14	57	45	12								212	159	53
	地球環境防災学科	65		2	264	67	53	14	67	43	24	66	50	16	66	51	15								266	197	69
	電子情報工学科	55		2	224	57	47	10	59	50	9	59	57	2	64	57	7								239	211	28
	機械科学科	80		2	324	82	74	8	81	75	6	80	71	9	78	74	4								321	294	27
	自然エネルギー学科	30		1	122	28	21	7	32	27	5	30	25	5	31	23	8								121	96	25
	物理科学科					-			-			-			1	1	0								1	1	0
	地球環境学科					-			-			-			4	4	0								4	4	0
	知能機械工学科					-			-			-			11	10	1								11	10	1
	計	360		10	1,460	362	296	66	372	309	63	361	307	54	392	331	61								1,487	1,243	244
農学生命科学部	生物学科	40			160	43	31	12	40	29	11	40	26	14	42	32	10								165	118	47
	分子生命科学科	40			160	40	16	24	41	25	16	42	26	16	45	26	19								168	93	75
	食料資源学科	55			220	57	31	26	56	29	27	57	31	26	55	28	27								225	119	106
	国際園芸農学科	50			200	55	30	25	48	25	23	51	23	28	50	21	29								204	99	105
	地域環境工学科	30			120	32	28	4	33	26	7	32	27	5	30	25	5								127	106	21
	生物資源学科														5	4	1								5	4	1
	園芸農学科														7	4	3								7	4	3
	計	215			860	227	136	91	218	134	84	222	133	89	234	140	94								901	543	358
合計	1,322	20	40	5,692	1,374	740	634	1,396	787	609	1,377	798	579	1,516	911	605	111	69	42	124	83	41	5,898	3,388	2,510		



大学院学生数

令和元年5月1日 現在

研究科	課程	専攻	入学定員	収容定員	現員																	
					1年次			2年次			3年次			4年次			総計					
					計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女			
人文社会科学研究科	修士	文化科学専攻	10	20	13	6	7	18	9	9	/			/			31	15	16			
		応用社会科学専攻	6	12	9	7	2	11	3	8							20	10	10			
		計	16	32	22	13	9	29	12	17							51	25	26			
教育学研究科	修士	学校教育専攻	16	32	16	7	9	24	6	18	/			/			40	13	27			
		教科教育専攻			-	/	/	1	0	1							1	0	1			
		養護教育専攻			-	/	/	0	0	0							0	0	0			
		計	16	32	16	7	9	25	6	19							41	13	28			
	専門職学位	教職実践専攻	16	32	19	12	7	13	8	5							32	20	12			
医学研究科	博士	医科学専攻	60	240	55	36	19	42	33	9	57	37	20	103	73	30	257	179	78			
保健学研究科	博士前期	保健学専攻	30	60	33	24	9	37	25	12	/			/			70	49	21			
	博士後期	保健学専攻	12	36	14	10	4	14	10	4							21	8	13	49	28	21
理工学研究科	博士前期	理工学専攻	120	240	107	92	15	107	92	15	/			/			214	184	30			
	博士後期	機能創成科学専攻	6	18	3	3	0	4	3	1							3	2	1	10	8	2
		安全システム工学専攻	6	18	9	6	3	9	6	3							6	5	1	24	17	7
		計	12	36	12	9	3	13	9	4							9	7	2	34	25	9
農学生命科学研究科	修士	農学生命科学専攻	60	120	56	39	17	50	30	20	/			/			106	69	37			
地域社会研究科	博士後期	地域社会専攻	6	18	6	2	4	7	5	2							25	16	9	38	23	15
合計			348	846	340	244	96	337	230	107	112	68	44	103	73	30	892	615	277			

岩手大学大学院連合農学研究科(博士後期課程)

※現員は弘前大学(指導教員)に属する学生数 令和元年5月1日 現在

研究科	課程	入学定員	収容定員	現員														
				1年次			2年次			3年次			4年次			総計		
				計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
連合農学研究科	博士後期	24	80	7	4	3	9	7	2	8	5	3	/			24	16	8

教育学部附属学校

令和元年5月1日 現在

区分	総定員	学級数	現員						総計
			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	
附属幼稚園	90	4	(3才児) 17		(4才児) 25		(5才児) 22		64
附属小学校	642	21	103	94	82	102	89	84	554
附属中学校	495	15	164	164	161				489
附属特別支援学校	小学部	18	(低学年) 6		(中学年) 5		(高学年) 6		17
	中学部	18	6	4	5				15
	高等部	24	8	8	8				24
合計	1,287								1,163

学部卒業生数

学部	平成30年度	累計
人文学部	339	13,476
教育学部	4年課程	238
	2年課程	1,613
	計	238
医学部医学科	118	6,247
医学部保健学科	197	3,124
理学部		5,112
理工学部	290	5,180
農学部		4,541
農学生命科学部	183	3,305
文理学部		1,392
合計	1,365	61,677

※文理学部……昭和40年4月 人文学部、理学部に改組
 ※理学部・農学部……平成9年10月 理工学部、農学生命科学部に改組

大学院研究科修了者数

研究科	平成30年度	累計
人文科学研究科		111
人文社会科学研究科	18	241
教育学研究科	修士課程	23
	専門職学位課程	18
医学研究科	37	2,065
医学系研究科		54
保健学研究科	博士前期課程	35
	博士後期課程	9
理学研究科		844
理工学研究科		153
理工学研究科	博士前期課程	94
	博士後期課程	6
農学研究科		435
農学生命科学研究科	50	717
地域社会研究科	5	41
合計	295	7,138

※人文科学研究科(修士課程)……平成11年4月 人文社会学研究科(修士課程)に改組
 ※医学系研究科(修士、博士課程)……平成17年4月～平成19年3月まで設置
 ※理学研究科(修士課程)……平成14年4月 理工学研究科(修士課程)に改組
 ※農学研究科(修士課程)……平成14年4月 農学生命科学研究科(修士課程)に改組
 ※理工学研究科(修士課程)……平成16年4月 理工学研究科(博士前期課程)に改組

専攻科

区分	昭和35～平成10年度合計
人文学専攻科(平成11年3月廃止)	41
教育専攻科(平成6年3月廃止)	100
理学専攻科(昭和53年3月廃止)	70
農学専攻科(昭和46年3月廃止)	28

医療技術短期大学部

区分	昭和50～平成15年度合計
学科(平成16年3月廃止)	4,615
専攻科(平成16年3月廃止)	548

学位授与者数(平成30年度)

修士

専攻分野	平成30年度	累計
文学		111
人文社会科学	18	241
教育学	23	748
教職修士(専門職)	18	18
看護又は保健学	35	331
理学		844
理工学	94	1,424
農学		435
農学生命科学	50	717
合計	238	4,869

博士

専攻分野	課程修了		論文審査		旧制
	平成30年度	累計	平成30年度	累計	累計
医学	37	2,065	1	888	469
保健学	9	88	1	3	
理学又は工学	6	75	0	2	
学術	5	41	1	6	
合計	57	2,269	3	899	469



卒業・修了者 進路状況 (平成30年度)

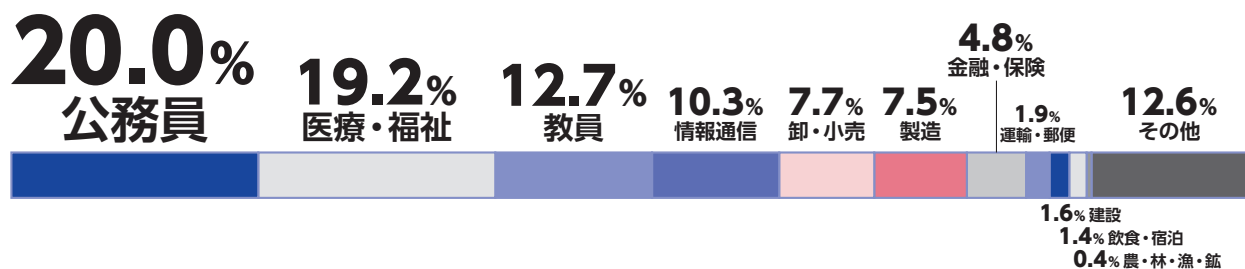
令和元年5月1日 現在

区分	卒業者数 修了者数			就職希望者数 (A)			就職者数 (B)			就職率 (B/A) (%)			未就職者数			進学者数			臨床研修医数			その他				
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女		
学部	人文学部	341	188	153	304	168	136	301	166	135	99.0	98.8	99.3	3	2	1	9	5	4	0	0	0	0	28	15	13
	教育学部	238	102	136	193	76	117	192	75	117	99.5	98.7	100.0	1	1	0	25	13	12	0	0	0	0	20	13	7
	医学部医学科	118	76	42	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	116	74	42	2	2	0	
	医学部保健学科	197	62	135	172	44	128	172	44	128	100.0	100.0	100.0	0	0	0	18	13	5	0	0	0	0	7	5	2
	理工学部	290	243	47	156	126	30	153	124	29	98.1	98.4	96.7	3	2	1	116	99	17	0	0	0	0	18	18	0
	農学生命科学部	183	113	70	126	72	54	121	68	53	96.0	94.4	98.1	5	4	1	50	35	15	0	0	0	0	7	6	1
	計	1,367	784	583	951	486	465	939	477	462	98.7	98.1	99.4	12	9	3	218	165	53	116	74	42	82	59	23	
大学院	人文社会科学研究科	18	2	16	14	2	12	13	2	11	92.9	100.0	91.7	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	3	0	3
	教育学研究科	41	17	24	31	12	19	31	12	19	100.0	100.0	100.0	0	0	0	4	1	3	0	0	0	0	6	4	2
	医学研究科	37	22	15	34	21	13	34	21	13	100.0	100.0	100.0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	2
	保健学研究科 (博士前期)	35	19	16	23	13	10	22	12	10	95.7	92.3	100.0	1	1	0	11	6	5	0	0	0	0	1	0	1
	保健学研究科 (博士後期)	9	5	4	9	5	4	9	5	4	100.0	100.0	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	理工学研究科 (博士前期)	97	86	11	92	82	10	92	82	10	100.0	100.0	100.0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	2	1	1
	理工学研究科 (博士後期)	6	5	1	5	4	1	5	4	1	100.0	100.0	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
	農学生命科学研究科	51	32	19	44	30	14	43	30	13	97.7	100.0	92.9	1	0	1	5	2	3	0	0	0	0	2	0	2
	地域社会研究科	5	5	0	5	5	0	5	5	0	100.0	100.0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	299	193	106	257	174	83	254	173	81	98.8	99.4	97.6	3	1	2	25	13	12	0	0	0	0	17	6	11

学部卒業生 産業別の就職状況 (平成30年度)

学部	公務員		医療・福祉	学校教育					情報通信	卸・小売	製造	金融・保険	運輸・郵便	建設	飲食・宿泊	農・林・漁・鉱	その他の産業	計
	国家公務	地方公務		小学校	中学校	高等学校	※教員その他 事務職員等											
人文学部	25	61	8	1	1	6	0	1	45	41	15	30	10	3	10	0	44	301
教育学部	5	18	2	46	27	18	9	1	8	17	3	6	1	0	2	0	29	192
医学部保健学科	0	1	169	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	172
理工学部	11	27	1	0	2	5	1	1	38	2	28	9	5	8	0	0	15	153
農学生命科学部	6	34	0	0	0	1	0	1	5	12	24	0	2	4	1	4	27	121
計	47	141	180	47	30	30	11	4	97	72	70	45	18	15	13	4	115	939

※教員その他は幼稚園、幼保連携型認定こども園、特別支援学校、中等教育学校、高等専門学校、大学等の教員数



外国人留学生数

令和元年5月1日 現在

区分		国・地域名	学部等																	計						
			中国	台湾	大韓民国	タイ	マレーシア	シンガポール	インドネシア	ベトナム	モンゴル	バングラデシュ	アメリカ	カナダ	フランス	イタリア	ルーマニア	ハンガリー	ウズベキスタン		ニュージーランド	フィジー	エチオピア	カメルーン		
学部留学生	私費正規留学生	人文学部	1																						1	
		人文社会科学部	7		2		3			3	1															16
		医学部医学科	1																							1
		医学部保健学科	1	1																						2
		理工学部	8			1	2																			11
		農学生命科学部	2		1		2			2																7
	私費研究生	人文社会科学部	5																							5
		教育学部	2																							2
		理工学部	1																							1
		農学生命科学部	2																							2
	科目等履修生・聴講生	人文社会科学部	9	1	9	6							4	1	6	5	1			3						45
		教育学部	4																							4
		理工学部	3		1																					4
		農学生命科学部	1		1									1				1								4
	国費日本語・日本文化研修留学生	人文社会科学部				1																				1
	大学院留学生	国費正規留学生	医学研究科																1							1
			保健学研究科																						1	1
			理工学研究科				2			2																
		国費研究生	教育学研究科																		1					1
私費正規留学生		人文社会科学研究科	26										1													27
		教育学研究科	4																							4
		医学研究科	9																							9
		保健学研究科	2						1	2																5
		理工学研究科	17			1	1		1																	20
		農学生命科学研究科	9							1	1															11
		地域社会研究科	5			1																				6
		連合農学研究科	4								2	2							1				1			10
私費研究生	農学生命科学研究科	1																							1	
特別研究学生	理工学研究科	1																							1	
合計 Total		125	2	14	12	8	1	5	8	2	2	5	2	6	5	1	2	1	3	1	1	1	1	1	207	

大学間交流協定 (47 大学等)

令和元年5月1日 現在

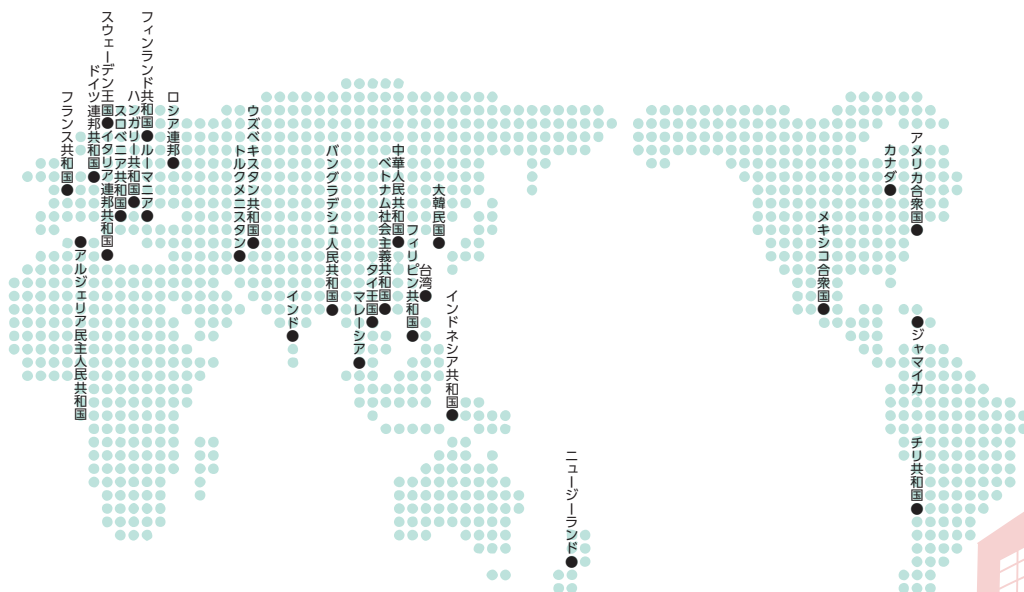
国・地域		協定締結先	協定締結日	備考
北米・南米	アメリカ合衆国	テネシー大学マーチン校	1980年 7月 8日	
		メイン州立大学	1997年 6月26日	
		サンディエゴ州立大学	2001年 3月19日	
		ハワイ大学コミュニティカレッジ	2017年10月30日	
	カナダ	サスカチュワン大学	2001年12月 7日	
		マウント・ロイヤル大学	2005年 6月 1日	
	トリントン・リバーズ大学	2006年10月19日		
チリ共和国	ラ・フロンテラ大学	2002年 6月25日		
メキシコ合衆国	オアハカ州立自治ベニートファレス大学	2016年 5月13日		
ヨーロッパ	フランス共和国	ポルドー・モンテーニュ大学	1994年 1月31日	
	ロシア連邦	国立極東総合医科大学	1995年12月14日	
		ロモノソフモスクワ大学	2000年 9月20日	
		イルクーツク大学	2002年 3月20日	
	ルーマニア	ヒッペリオン大学	1998年 9月11日	
	ドイツ連邦共和国	トリア大学	1999年 5月 3日	
	ハンガリー共和国	デブレゼン大学	2000年12月22日	
イタリア共和国	カターニア大学	2018年 3月27日		
オセアニア	ニュージーランド	オタゴ大学	2000年 9月20日	
		オークランド工科大学	2001年12月12日	
東アジア	中華人民共和国	哈爾濱師範大学	1995年 8月 1日	
		延辺大学	2000年 8月28日	
		鄭州大学	2000年10月12日	
		大連理工大学	2009年12月28日	
		新疆工程学院	2016年 9月23日	
		青島農業大学	2016年12月26日	
		太原理工大学	2017年 4月19日	
		瀋陽化工大学	2017年11月20日	
	大韓民国	南ソウル大学校	2001年 6月 1日	
		慶北大学校	2001年 7月11日	
		釜山大学校	2001年12月12日	
		京畿大学校	2002年 9月25日	
	台湾	国立高雄大学	2016年11月17日	
		開南大学	2016年11月18日	
		馬偕醫學院	2017年10月30日	
		国立屏東大学	2018年 4月10日	
	中国文化大学	2019年 2月19日		
東南アジア	タイ王国	チェンマイ大学	2000年11月 2日	
		コンケン大学	2008年 5月 6日	
		タマサート大学	2017年 4月14日	
	マレーシア	トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学	2017年 4月11日	
	インドネシア共和国	バンドン工科大学	2017年 5月 2日	
	インドネシア原子力庁	2017年10月 3日		
ベトナム社会主義共和国	アンザン大学	2018年 7月 2日		
中央アジア	ウズベキスタン共和国	タシュケント州立農科大学	2016年 9月19日	
		サマルカンド農業学院	2016年 9月22日	
	トルクメニスタン	トルクメニスタン農科大学	2019年 3月28日	
アフリカ	アルジェリア民主人民共和国	オラン科学技術大学	2018年 3月 5日	

部局間交流協定 (33大学等)

令和元年5月1日 現在

国・地域		協定締結先	協定締結日	備考
北米・南米	アメリカ合衆国	テネシー大学保健科学センター	1982年 5月19日	(医学研究科)
		サウスカロライナ大学	1994年 7月20日	(教育学部)
	ジャマイカ	西インド大学	2002年 2月25日	(医学研究科)
ヨーロッパ	ロシア連邦	ロシア科学アカデミー極東支部ウラジオストク植物園研究所	2015年 2月20日	(農学生命科学部)
	ハンガリー共和国	バンノニア大学工学部放射化学・放射生態学研究所	2013年 3月18日	(被ばく医療総合研究所)
	スロベニア共和国	リュブリャナ大学医学部	2014年11月28日	(医学研究科)
	スウェーデン王国	ストックホルム大学放射線防護研究センター	2013年 3月 6日	(保健学研究科)
	フィンランド共和国	ヘルシンキ大学ルリア研究所	2009年 9月 7日	(人文社会科学部)
東アジア	中華人民共和国	中国医科大学	2005年10月25日	(医学研究科)
		中国衡陽師範学院物理・情報科学部	2014年11月11日	(被ばく医療総合研究所)
		中国瀋陽農業大学園芸学院	2015年11月 3日	(農学生命科学部)
		輻射防護研究所	2016年 5月 2日	(被ばく医療総合研究所)
		四川大学化学工学学院	2016年 6月 8日	(地域戦略研究所)
		蘇州大学放射線医学・防護学部	2018年 5月21日	(被ばく医療総合研究所)
		中国科学院西双版纳熱帯植物園	2018年10月29日	(農学生命科学部)
	中国復旦大学放射医学研究所	2019年 3月12日	(被ばく医療総合研究所)	
	大韓民国	韓国原子力医学院緊急被ばく医療センター	2013年 1月21日	(被ばく医療総合研究所)
		東南圏原子力医学院	2016年 6月14日	(被ばく医療総合研究所)
		国立忠北大学校農業生命環境学部	2018年12月 6日	(農学生命科学部)
		国立江原大学校農業生命科学大学	2018年11月 5日	(農学生命科学部)
		台湾	国立中興大学農業自然資源学部	2017年11月15日
東南アジア		タイ王国	カセサート大学農学部	2015年 5月27日
	チュラロンコン大学科学院		2018年 1月30日	(地域戦略研究所)
	カセサート大学理学部		2018年 7月11日	(被ばく医療総合研究所)
	パヤオ大学エネルギー環境学部		2018年 8月 6日	(農学生命科学部)
	パヤオ大学経営情報学部		2018年 8月 6日	(農学生命科学部)
	チュラロンコン大学工学部	2018年12月21日	(被ばく医療総合研究所)	
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム原子力研究所原子力科学技術研究所	2013年11月22日	(被ばく医療総合研究所)
	フィリピン共和国	フィリピン原子力研究所	2015年 6月30日	(被ばく医療総合研究所)
南アジア	インド	アラガッパ大学理学部	2018年 8月 7日	(農学生命科学部)
		アラガッパ大学人文社会科学部	2018年 8月 7日	(農学生命科学部)
	バングラデシュ人民共和国	バングラデシュ原子力委員会ダッカ原子力センター	2018年10月15日	(被ばく医療総合研究所)
		ハジェモハマド・ダネシュ科学技術大学 (HSTU) 農学部	2018年11月24日	(農学生命科学部)

国際交流



国内機関との連携・協力協定

弘前大学では、地域創生本部が策定した基本方針に基づき、積極的に社会との連携、地域への貢献を進めることとしており、その一環として、自治体、企業等との連携に関する協定を締結しています。また、その他にも生涯学習事業、産学官連携による共同研究など、多様な取組を実施しています。

大学間協定

令和元年5月1日 現在

	協定締結日	協定締結先	協定事項
自治体	2018年12月26日	青森県南部町	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2018年 7月19日	青森県田子町	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2017年 5月15日	青森県板柳町	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2016年 6月17日	青森県平川市	地域産業の振興、地域文化の振興、健康づくり、ひとづくり・人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、学術の調査・研究、その他
	2015年 7月 7日	青森県むつ市	地域産業の振興、文化の向上・発展、地域づくり、学術研究、地域人材の育成、地方創生、その他
	2015年 6月12日	青森県藤崎町	地域産業の振興、文化の向上・発展、地域づくり、学術研究、地域人材の育成、地方創生、その他
	2015年 5月15日	青森県深浦町	地域産業の振興、文化の育成・発展、地域づくり、学術、地域人材の育成、その他
	2015年 2月24日	青森県教育委員会	学校教育の充実・振興、社会教育・スポーツの振興、文化・芸術活動、文化財の保護と活用
	2011年 9月29日	福島県浪江町	除染を含む環境改善、教育及び人材育成、文化の育成・振興、健康づくり・医療・福祉
	2008年12月22日	青森県西目屋村	教育・人材育成、文化の育成・振興、地域づくり、学術、健康づくり、医療・福祉、弘前大学白神自然観察園、その他
	2007年 5月 7日	青森県青森市	都市交通、自然・環境、産業振興、健康・医療・福祉、教育・文化、その他
	2006年11月25日	青森県	人材、教育・研究、産業・雇用、健康・環境・エネルギー、安全・安心、その他
	2006年 9月19日	青森県弘前市	教育、人材育成、文化の育成・振興、産業振興、まちづくり、学術研究、健康・医療・福祉、自然・環境、その他
	2005年10月 6日	青森県鯉ヶ沢町	産業振興、文化の育成・発展、まちづくり、人材育成、学術、その他
その他企業等	2019年 3月31日	福島県立医科大学 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 広島大学、長崎大学	線量評価、特に内部線量評価、人材育成及び人材交流、患者診療、その他
	2018年 3月 5日	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構	職員・学生等の交流、連携大学院教育、研究情報等の交換、施設及び設備の共同利用、共同研究、被ばく医療
	2018年 1月11日	青森県信用組合	地域経済の活性化、地域中小企業のニーズ、地域振興に資する人材の育成及び生涯学習、学術研究、その他産学連携の協力推進
	2017年10月17日	青い森信用金庫	地域経済の活性化、地域中小企業のニーズ、地域振興に資する人材の育成及び生涯学習、学術研究、その他産学連携の協力推進
	2017年10月 4日	東奥信用金庫	地域経済の活性化、地域中小企業のニーズ、地域振興に資する人材の育成及び生涯学習、学術研究、その他産学連携の協力推進
	2016年 7月21日	株式会社日本政策金融公庫	地域産業の振興、地方創生、地域振興に資する人材の育成、学術研究、その他産学連携の協力推進
	2016年 7月14日	北東北3大学、3銀行 (秋田大学、岩手大学、弘前大学) (秋田銀行、岩手銀行、青森銀行)	北東北3大学三銀行提携事業「地域TLOネットピックスプラス」の運営による包括提携
	2015年11月26日	青森県内8大学1高専、5自治体	「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に係る連携・協力
	2013年 7月2日	青森商工会議所	地域産業の振興、地域活性化(中心市街地活性化等)、産学連携、健康福祉の増進、人材の育成、その他
	2012年12月 6日	弘前商工会議所	地域産業の振興、地域活性化、地域支援、産学連携、地域人材の育成
	2009年 9月28日	地方独立行政法人青森県産業技術センター	人文科学、社会科学、自然科学の各分野及び研究者等交流
	2007年 8月 7日	サンスター株式会社	共同研究テーマの検討とこれに伴う研究者の交流、連絡協議会の開催、その他研究者の交流
	2007年 6月25日	株式会社みちのく銀行	地域経済活性化に関する情報交換及び支援、大学の研究成果等に関する情報交換及び支援、地域企業の研究開発ニーズ等の紹介支援、大学発ベンチャー企業に関する情報交換及び支援、その他
	2007年 4月25日	株式会社青森銀行	地域文化・地域産業の発展・地域の課題に関する情報交換、新技術・新規事業分野・事業化(大学発ベンチャー等)、教育、人材育成、生涯学習、地域経済研究、その他
大学	2018年10月 4日	独立行政法人国立病院機構 弘前市、青森県	津軽地域保健医療圏における新中核病院の整備及び運営に係る基本協定
	2013年 4月25日	東北地区7国立大学法人	災害時連携協定
	2002年 5月22日	北東北国立3大学	単位互換に関する協定
	2003年 3月 6日	弘前学院大学	単位互換に関する協定
	2010年11月18日	放送大学	単位互換に関する協定

部局間協定

令和元年5月1日 現在

部局名	協定締結日	協定締結先	協定の形態等	
人文社会科学部	2019年 3月29日	国立大学法人名古屋大学大学院人文学研究科	連携協力協定	
	2017年 5月30日	青森県社会保険労務士会	連携協力協定	
	2017年 5月22日	一般社団法人GAP普及推進機構	連携協力協定	
	2017年 4月13日	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館	連携協力協定	
	2016年 5月24日	特定非営利活動法人青森県消費者協会	連携協力協定	
教育学部	2017年 7月15日	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国文学研究資料館・ 弘前市教育委員会・青森県立郷土館・人文社会科学部	「津軽デジタル風土記の構築」プロジェクトの推進	
	2015年 3月25日	黒石市・平川市・藤崎町・大鰐町・ 田舎館村教育委員会	連携協力協定	
	2012年 1月27日	弘前市教育委員会	連携協力協定	
	2008年11月26日	黒石市教育委員会	教員を目指す学生による教育活動支援	
	2008年 2月 7日	青森県教育委員会	連携協力協定	
	2008年 1月29日	むつ市教育委員会	連携協力協定	
医学研究科	2015年 3月25日	黒石市・平川市・藤崎町・大鰐町 田舎館村教育委員会	連携協力協定	
	2013年11月14日	弘前市教育委員会	連携協力協定	
理工学研究科	2016年 3月10日	函館工業高等専門学校	学術交流協定	
	2011年10月20日	八戸工業高等専門学校・岩手大学工学部 一関工業高等専門学校	学術交流協定	
医学部附属病院	2018年 3月30日	弘前ガス株式会社	災害発生時におけるガス優先供給に関する協定	
	2015年10月 5日	株式会社ローソン	災害時における物資の調達に関する協定	
被ばく医療総合研究所	2017年12月22日	福島大学環境放射能研究所	連携協力協定	
地域戦略研究所	新エネルギー研究部門	2017年 7月20日	株式会社みちのく銀行	新エネルギー分野における連携・協力に関する協定
		2014年 3月27日	むつ市	連携協力協定
	食料科学研究部門	2016年 1月28日	函館短期大学付設調理製菓専門学校、 株式会社fun function	「北日本食の成長戦略」実現に向けた三者連携
		2015年11月10日	学校法人野又学園函館短期大学 付設調理製菓専門学校	連携・協力に関する協定
		2015年 1月15日	むつ市	連携協力協定
		2014年12月15日	深浦町、株式会社オカムラ食品工業	サーモン養殖実証事業に関する三者連携協定
		2014年 7月22日	深浦町	連携協力協定

国内機関との連携協定等



青森県三戸郡田子町



青森県三戸郡南部町

収入 (2019年度)

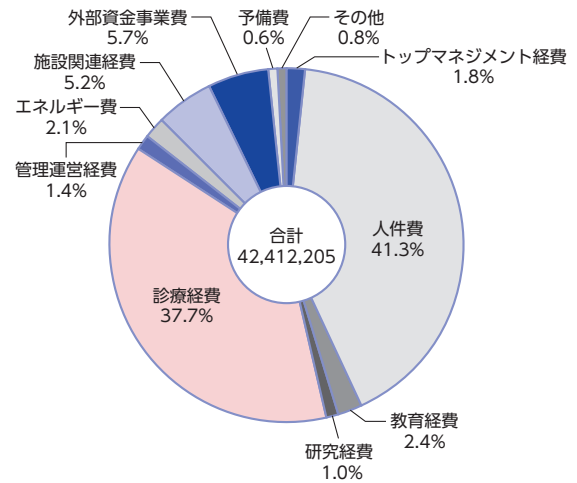
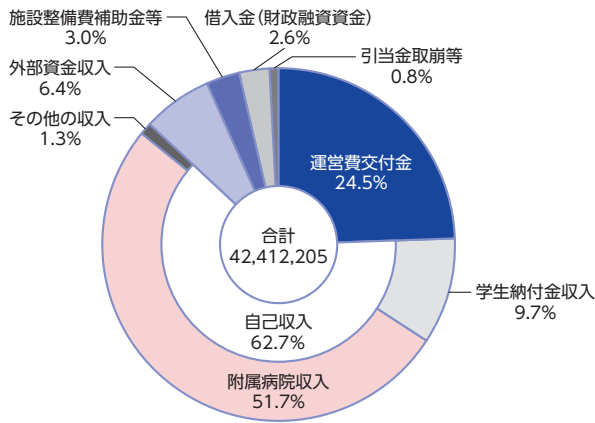
単位：千円

区分	収入額
運営費交付金	10,376,074
自己収入	26,620,833
学生納付金収入	4,132,603
附属病院収入	21,939,344
その他の収入	548,886
外部資金収入	2,704,921
施設整備費補助金等	1,252,361
借入金 (財政融資資金)	1,110,159
引当金取崩等	347,857
合計	42,412,205

支出 (2019年度)

単位：千円

区分	支出額
トップマネジメント経費	748,834
人件費	17,552,753
教育経費	1,019,511
研究経費	408,778
診療経費	16,034,471
管理運営経費	581,521
エネルギー費	891,728
施設関連経費	2,195,868
外部資金事業費	2,404,057
予備費	247,528
その他	327,156
合計	42,412,205



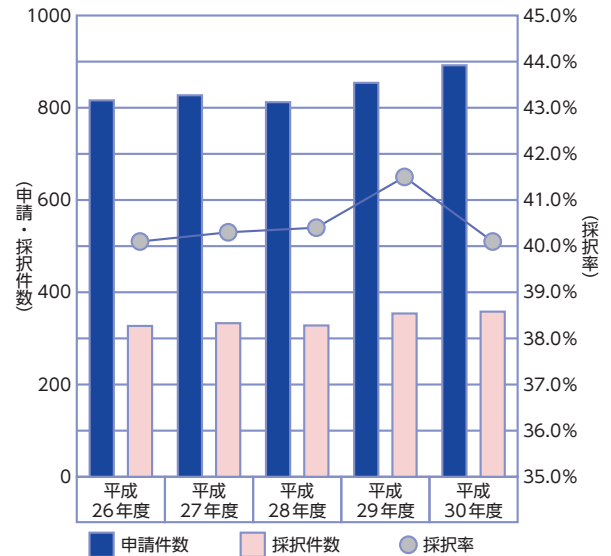
科学研究費助成事業 (2019年度)

単位：千円

研究種目	件数	配分額		
		直接経費	間接経費	計
新学術領域研究	4	14,100	4,230	18,330
基盤研究 (S)	0	0	0	0
基盤研究 (A)	5	38,400	11,520	49,920
基盤研究 (B)	29	104,200	31,260	135,460
基盤研究 (C)	217	222,200	66,660	288,860
挑戦的研究 (開拓・萌芽)	11	17,400	5,220	22,620
若手研究 (A)	1	4,200	1,260	5,460
若手研究 (B)	24	19,500	5,850	25,350
若手研究	84	81,500	24,450	105,950
研究活動スタート支援	1	700	210	910
国際共同研究強化 (B)	1	3,700	1,110	4,810
合計	377	505,900	151,770	657,670

※件数及び金額は、本学に交付内定通知があったもの。(平成31年4月現在)
 ※基金種目の継続課題については、平成31年度支払請求額を計上した。
 ※挑戦的萌芽研究、若手研究 (A)、若手研究 (B)は継続課題のみ計上した。
 ※挑戦的研究、基盤研究 (B)及び基盤研究 (C)の特設分野、研究活動スタート支援、国際共同研究強化 (B)は内定が令和元年6月以降となるため、継続分のみを計上した。

科学研究費助成事業申請・採択状況



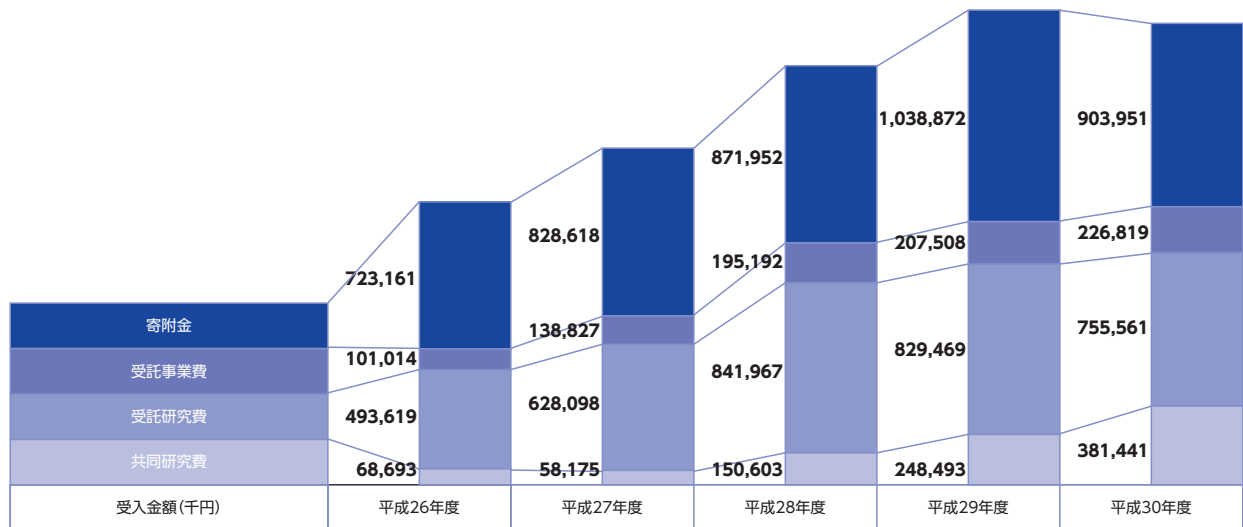
外部資金受入状況 (平成30年度)

部局等	共同研究費		受託研究費		受託事業費		寄附金	
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)
人文社会科学部	2	224	4	918	-	-	8	6,381
教育学部	4	2,097	1	329	7	12,664	5	5,028
医学研究科	35	286,531	24	493,922	32	33,207	531	675,390
保健学研究科	6	6,824	4	27,215	-	-	23	9,196
医学部附属病院	5	2,644	7	27,164	14	16,842	42	29,760
理工学研究科	38	38,022	17	78,438	-	-	43	36,705
農学生命科学部	43	38,955	20	79,286	5	22,591	34	20,094
地域社会研究科	-	-	3	5,646	1	1,000	-	-
被ばく医療総合研究所	4	5,621	1	216	5	111,982	4	720
地域戦略研究所	3	523	9	42,427	3	14,073	7	23,750
生涯学習教育研究センター	-	-	-	-	1	321	-	-
保健管理センター	-	-	-	-	-	-	1	120
附属図書館	-	-	-	-	-	-	4	1,330
COC推進本部	-	-	-	-	2	3,375	-	-
国際連携本部	-	-	-	-	4	10,764	58	9,156
事務局	-	-	-	-	-	-	1,166	86,321
合計	140	381,441	90	755,561	74	226,819	1,926	903,951

※件数:複数年契約を含む ※金額:平成30年度受入額 ※医学部附属病院の受託研究費には治験を含んでいない。

外部資金受入状況

部局等	共同研究費		受託研究費		受託事業費		寄附金	
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)
平成26年度	48	68,693	92	493,619	36	101,014	690	723,161
平成27年度	59	58,175	89	628,098	39	138,827	959	828,618
平成28年度	70	150,603	79	841,967	41	195,192	1,063	871,952
平成29年度	88	248,493	80	829,469	36	207,508	3,561	1,038,872
平成30年度	140	381,441	90	755,561	74	226,819	1,926	903,951



文京地区



01 旧制弘前高等学校外国人教師館
(弘大カフェ)

02 案内所(守衛所)

03 事務局

04 保健管理センター

05 創立50周年記念会館

06 総合教育棟

07 人文社会科学部

08 附属図書館

09 大学会館

10 学生食堂

11 教育学部

12 資料館

13 附属教育実践総合センター

14 第一体育館

15 弓道場

16 附属地震火山観測所

17 情報連携統括本部情報基盤センター

18 附属遺伝子実験施設

19 創立60周年記念会館コラボ弘大

20 コラボレーションセンター

21 理工学部1号館

22 理工学部2号館

23 農学生命科学部

24 温室

25 第二体育館

26 武道場

27 サークル棟



創立50周年記念会館



創立60周年記念モニュメント 金工作品「幸せのリング」
宮田亮平 前東京芸術大学長、現文化庁長官作
(創立60周年記念会館コラボ弘大1Fロビー内)



創立60周年記念会館
コラボ弘大

本町地区



- | | |
|----------------------------|--|
| 28 医学部コミュニケーションセンター | 41 看護師宿舎 |
| 29 臨床研究棟 | 42 医学研究科 |
| 30 臨床講義棟 | 43 附属図書館医学部分館 |
| 31 外来診療棟 | 44 基礎講義棟 |
| 32 エネルギーセンター | 45 アイソトープ総合実験室 |
| 33 第一病棟 | 46 附属動物実験施設 |
| 34 第二病棟 | 47 本町地区共同利用施設
(附属高度先進医学研究センター) |
| 35 中央診療棟 | 48 附属脳神経血管病態研究施設 |
| 36 高度救命救急センター | 49 学生支援センター 1号棟 |
| 37 立体駐車場 | 50 ひろだい保育園 |
| 38 保健学研究科 | 51 学生支援センター 2号棟 |
| 39 被ばく医療総合研究所 | 52 健康未来イノベーションセンター |
| 40 体育館 | |



医学部附属病院
第一病棟及び第二病棟



高度救命救急センター



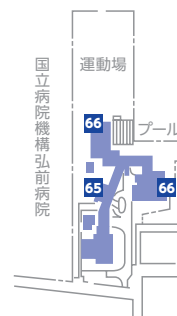
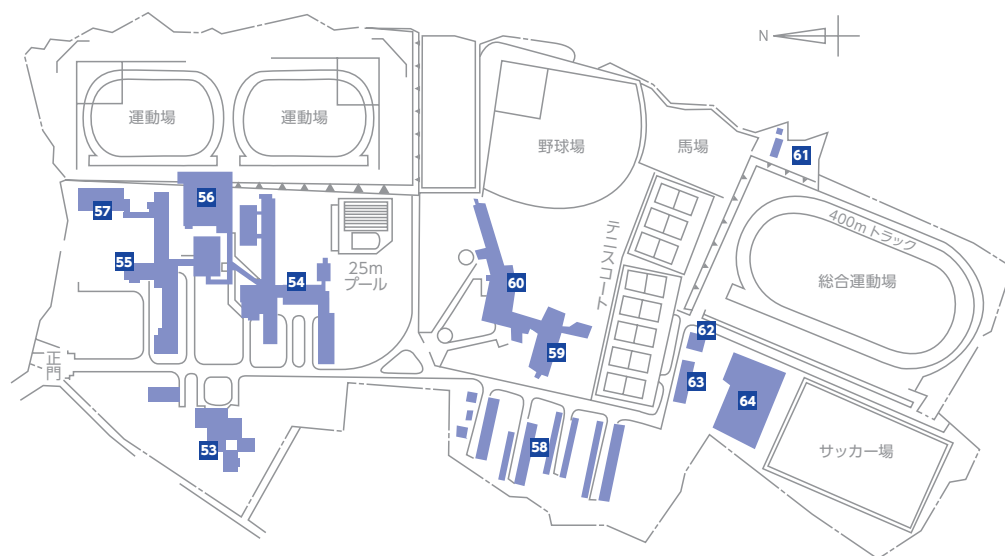
健康未来イノベーションセンター



ひろだい保育園

学園町地区

富野町地区



53 附属幼稚園

54 附属小学校

55 附属中学校

56 附属小・中体育館

57 武道場

58 職員宿舎

59 北鷹寮(男子)

60 朋寮(女子)

61 馬房

62 合宿所

63 体育管理施設

64 屋内プール

65 附属特別支援学校

66 屋内体育館



附属幼稚園



附属小学校



附属中学校



附属特別支援学校

藤崎農場



- 67** 管理棟
- 68** 加工舎
- 69** リンゴ低温倉庫
- 70** 果樹根実験施設
- 71** 小農具舎
- 72** 大農具舎
- 73** 収納調整舎
- 74** 収納舎



管理棟



ピーターパンチューリップ園

金木農場

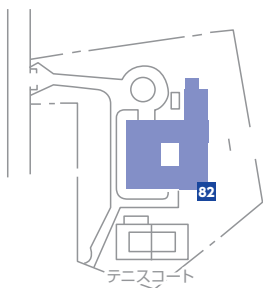


- 75** 管理棟／宿泊施設
- 76** 宿泊棟
- 77** 多目的舎
- 78** アップルビーフ
特別生産牛舎
- 79** 農機具舎
- 80** 繁殖舎
- 81** 肥育舎



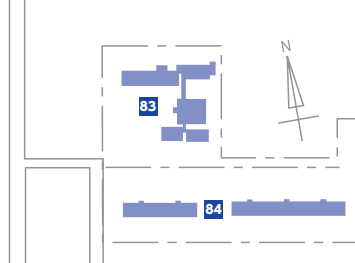
繁殖舎

緑ヶ丘地区



- 82** 北溟寮 (男子)

桔梗野地区



- 83** 国際交流会館
- 84** 職員宿舎



北溟寮 (男子)



国際交流会館

土地・建物

令和元年5月1日 現在

区分		土地(m)	建物延面積(m)	
文京町地区	人文社会科学部	135,267	6,089	
	教育学部		教育学部	16,929
			教育学部附属教育実践総合センター	541
	理工学研究科		理工学研究科	22,663
			理工学研究科附属地震火山観測所	268
	農学生命科学部		農学生命科学部	13,200
			コラボレーションセンター	4,582
			農学生命科学部附属遺伝子実験施設	1,527
	総合教育棟		11,895	
	附属図書館		6,111	
	保健管理センター		477	
	情報連携統括本部情報基盤センター		2,351	
	コラボ弘大		3,758	
	創立50周年記念会館		1,515	
	大学会館		4,952	
	体育関係施設		第一・第二体育館・多目的広場	3,394
	課外活動施設		弓道場・武道場、サークル棟 等	2,494
本部管理施設等	事務局、外国人教師館 他	4,288		
小 計		135,267	107,034	
学園町地区	教育学部附属幼稚園	176,403	1,065	
	教育学部附属小学校		8,288	
	教育学部附属中学校		8,171	
	学生寄宿舎		6,372	
	総合運動施設		3,077	
	職員宿舎		6,416	
	小 計		176,403	33,389
本町地区	医学研究科・保健学研究科	94,511	59,651	
	医学部附属病院		71,970	
	看護師宿舎(研修医宿舎)		2,350	
	女性医師支援施設		250	
	医学部コミュニケーションセンター		894	
	体育施設		野球場、体育館	1,457
	小 計		94,511	136,572
富野町地区	教育学部附属特別支援学校	10,605	3,874	
	教育学部附属特別支援学校実習施設	1,602	33	
	小 計	12,207	3,907	
桔梗野地区	国際交流会館	3,143	2,030	
	職員宿舎	5,147	2,963	
	小 計	8,290	4,993	
緑ヶ丘地区	学生寄宿舎	9,631	3,279	
紙漕町地区	文京荘	1,617	581	
その他	農学生命科学部附属生物共生教育研究センター	藤崎農場	142,607	2,370
		金木農場	358,798	4,806
	農学生命科学部	深浦実験所	798	165
		農業実習地	10,812	47
	深浦ハウス	6,632	159	
	地域戦略研究所	新エネルギー研究部門	(1,604)	(2,454)
		食料科学研究部門	(524)	(324)
	農学生命科学部附属白神自然環境研究センター	(178,560)	255	
	理工学研究科附属地震火山観測所	岩崎・三蔵・泊 地震観測点	(1,888)	100
		荻珠山・濱横沢・百沢 火山観測点	(546)	45
	納骨堂・埋骨堂	(48)	8	
その他	3,676	500		
合 計		1,144,419	300,988	

※()は借用

体育館施設

令和元年5月1日 現在

区分	所在地	面積	備考	
屋内施設	第一体育館	文京町	1,828	
	第二体育館	文京町	1,566	
	体育館	本 町	1,457	
	弓道場	文京町	140	
	武道場	文京町	756	柔道場、剣道場、合気道場、空手道場
	水泳プール	学園町	2,398	50メートル・9コース
	計		8,145	
屋外施設	多目的広場	文京町	12,144	サッカー、ラグビー、アメフト、ソフトボール等の練習
	野球場	南郷町	9,981	
	総合運動場	学園町	61,484	陸上競技場(400mトラック)、サッカー・アーチェリー場、テニスコート8面、馬房、野球場
	計		83,609	
合 計		91,754		

学生寮

令和元年5月1日 現在

寮 名	面積	設置年度	収容人数	
			定員	現員
北溟寮(男子・留学生混住型)	3,279	昭和40	106	78
朋寮(女子)	3,498	昭和42	234	188
北鷹寮(男子)	2,874	昭和43	200	129
合 計	9,651		540	395

国際交流会館

令和元年5月1日 現在

区分	面積	施設の概要
A 棟	982	単身室:31、共用部分:事務室、ラウンジ、ランドリー室
B 棟	1,048	夫婦室11、家族室7
合 計	2,030	

サテライト

弘前大学では、産学官の研究協力、生涯学習、広報活動、その他教育研究に関する事業を行い、弘前大学と地域社会の密接な連携を図ることを目的としてサテライトを設置しています。



八戸サテライト

弘前大学では平成14年6月1日、分室としての機能を持つ「弘前大学八戸サテライト」を開設し、これまで結びつきの弱かった八戸地域での活動拠点に築きました。弘前大学八戸サテライトは、八戸地域において、産学官の研究協力、生涯学習、広報活動、その他教育研究に関する事業を行い、弘前大学と地域社会の密接な連携を図ることを目的としています。地域との連携を更に推進するため、平成19年11月1日、八戸商工会館1階に移設しました。

住所	〒031-8511 青森県八戸市堀端町2-3 八戸商工会館1階
TEL	0178-43-1600
HP	http://www.rprc.hirosaki-u.ac.jp/~sate/hachi/



青森サテライト教室

弘前大学青森サテライト教室（地域戦略研究所新エネルギー研究部門2階）は、青森地域において、本学の分室としての機能を果たし、高等教育の推進を図ることを目的としています。青森サテライト教室では、青森地域における大学院レベルの学問を学びたいという方の要望に応えるため、平成15年4月から、大学院の授業を中心とした事業を実施しています。

住所	〒030-0813 青森県青森市松原2-1-3
TEL	0172-39-3105



東京事務所

弘前大学東京事務所は、首都圏における産学官連携を強化するとともに、本学の研究シーズを広く公開し、共同研究、技術移転等による外部資金の導入を促進することを目的としています。主な事業内容は、次のとおりです。

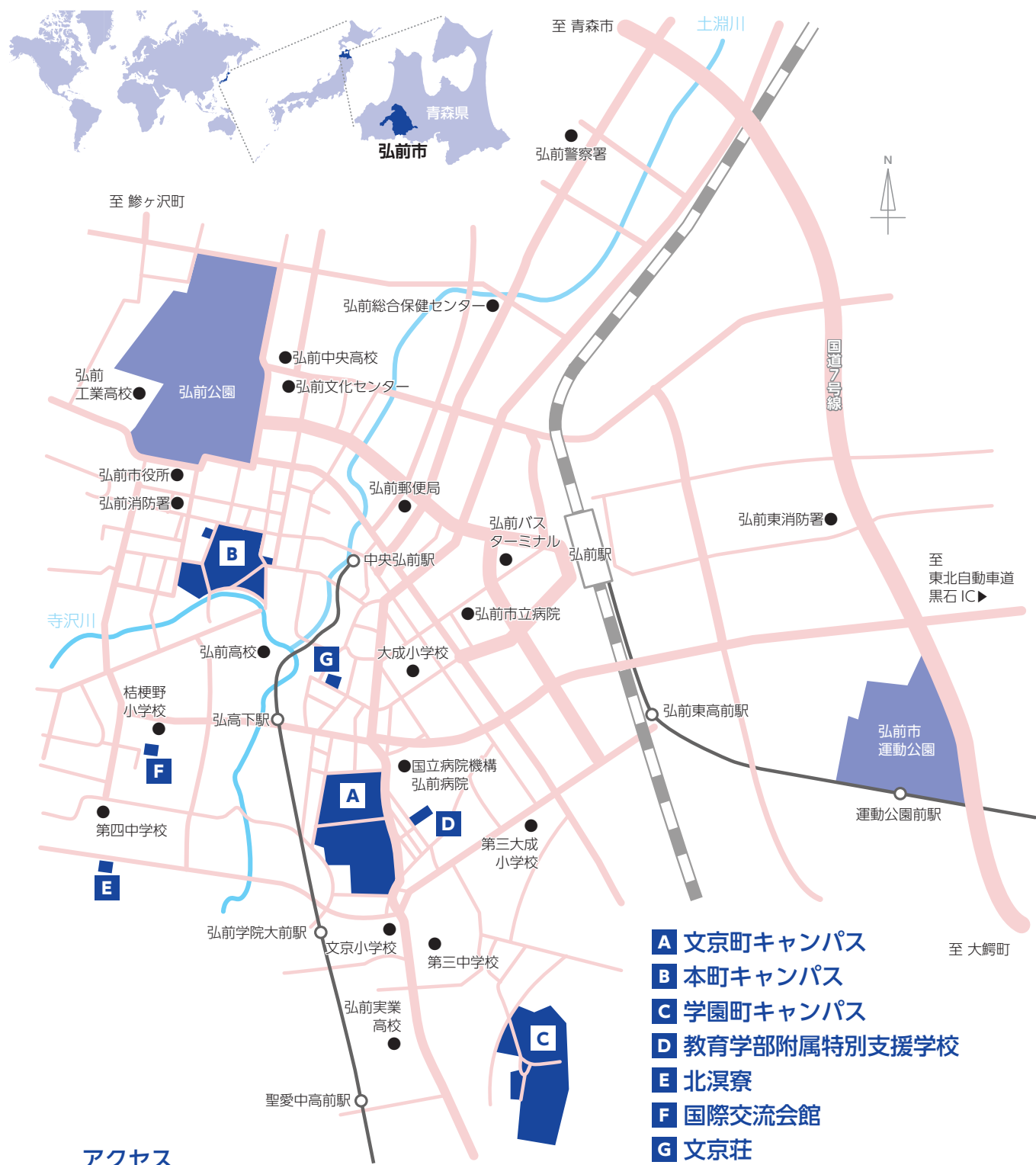
1. 産学官連携事業（科学技術相談、共同研究及び技術移転等）の実施
2. 首都圏における企業等のニーズと弘前大学のシーズのマッチング
3. 研究シーズ発表会、パネル展示会及び講演会等の実施
4. 広報活動（入学試験、就職に関する情報提供及び大学紹介資料の閲覧・配布等）
5. その他東京事務所の設置目的を達成するための事業

住所	〒105-0003 東京都港区西新橋1-18-6 クロスオフィス内幸町7階703
TEL	03-3519-5060
HP	http://jtokyo.hirosaki-u.ac.jp/



部局等所在地

	部局等名	住 所	TEL
文京町キャンパス	事務局	〒036-8560 弘前市文京町1	0172-36-2111 (大代表)
	人文社会科学部		
	教育学部		
	教育学部附属教育実践総合センター		
	教育学部附属教員養成学研究開発センター		
	教育学部附属教員免許状更新講習支援室		
	地域社会研究科		
	生涯学習教育研究センター		
	保健管理センター		
	男女共同参画推進室		
	出版会		
	資料館		
	ボランティアセンター		
	国際連携本部		
	情報連携統括本部		
	附属図書館		
	創立50周年記念会館		
	旧制弘前高等学校外国人教師館		
	理工学研究科	〒036-8561 弘前市文京町3	
	理工学研究科附属地震火山観測所		
	理工学研究科寒地気象実験室	〒036-1424 中津軽郡西目屋村川原平大川添101-1	
	農学生命科学部	〒036-8561 弘前市文京町3	
	農学生命科学部附属遺伝子実験施設		
農学生命科学部附属生物共生教育研究センター藤崎農場	〒038-3802 南津軽郡藤崎町藤崎下袋7-1	0172-75-3026	
農学生命科学部附属生物共生教育研究センター金木農場	〒037-0202 五所川原市金木町芦野84	0173-53-2029	
農学生命科学部附属白神自然環境研究センター	〒036-1424 中津軽郡西目屋村川原平大川添101-1	0172-36-2111 (大代表)	
農学生命科学部附属深浦実験所	〒038-2300 西津軽郡深浦町吾妻沢173	0172-36-2111 (大代表)	
情報連携統括本部情報基盤センター	〒036-8561 弘前市文京町3	0172-36-2111 (大代表)	
研究イノベーション推進機構共用機器基盤センター			
附属学校園	教育学部附属幼稚園		0172-32-6815
	教育学部附属小学校	〒036-8152 弘前市学園町1-1	0172-32-7202
	教育学部附属中学校		0172-32-7201
	教育学部附属特別支援学校	〒036-8174 弘前市富野町1-76	0172-36-5011
学寮・宿泊施設	北鷹寮(男子寮)	〒036-8152 弘前市学園町1-1	0172-32-2910
	朋寮(女子寮)		
	北溟寮(男子・留学生混住型)	〒036-8253 弘前市緑ヶ丘1-8-4	0172-32-3364
	文京荘(非常勤講師宿泊施設)	〒036-8221 弘前市紙漣町3-8	0172-32-0715
	国際交流会館	〒036-8227 弘前市栲楸野2-20-17	0172-37-6854
	深浦ハウス	〒038-2300 西津軽郡深浦町深浦岡崎338-229	0172-36-2111 (大代表)
本町キャンパス	医学研究科	〒036-8562 弘前市在府町5	0172-33-5111 (大代表)
	医学研究科附属脳神経血管病態研究施設		
	医学研究科附属高度先進医学研究センター		
	医学研究科附属動物実験施設		
	医学研究科附属子どものこころの発達研究センター		
	アイソトープ総合実験室		
	附属図書館医学部分館		
	健康未来イノベーションセンター		
	医学部附属病院	〒036-8563 弘前市本町53	
	医学部附属病院看護師宿舎(研修医宿舎)	〒036-8311 弘前市相良町26	
医学部コミュニケーションセンター	〒036-8203 弘前市本町40-1	0172-39-5240	
保健学研究科	〒036-8564 弘前市本町66-1	0172-33-5111 (大代表)	
研究所	被ばく医療総合研究所	〒036-8564 弘前市本町66-1	0172-39-5401
	地域戦略研究所・新エネルギー研究部門	〒030-0813 青森市松原2-1-3	017-735-3363
	地域戦略研究所・食料科学研究部門	〒038-0012 青森市柳川2-1-1	017-763-5028



アクセス

東京	東北新幹線 (約3時間10分)	新青森駅	JR特急 (約30分)	土手町循環100円バス (約15分)	大学病院前	本町キャンパス
	飛行機 (約1時間20分)	青森空港	弘南バス (約55分)	*6番 駒越線 (約15分)	本町	
札幌	JR特急 (約3時間30分)	新函館北斗駅	北海道新幹線 (約1時間10分)	新青森駅	JR特急 (約30分)	文京町キャンパス
	飛行機 (約45分)	青森空港	弘南バス (約55分)	*8番 金属団地・桜ヶ丘線 (約15分)	弘前大学前または弘大農学生命科学部前	
盛岡	高速バス ヨーデル号 (約2時間15分)			*3番 学園町線 (約15分)	学園町	学園町キャンパス
仙台	高速バス キャッスル号 (約4時間20分)			*3番 学園町線 (約25分)	学園町	学園町キャンパス

*中央口のりば



編集・発行

弘前大学総務部総務広報課

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地

URL <https://www.hirosaki-u.ac.jp/>

表紙デザイン 弘前大学教育学部 石川善朗教授監修 清藤慎一郎（弘前大学大学院教育学研究科）制作

